

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所2号炉工事計画）（167）
2. 日時：令和3年6月30日 15時30分～18時00分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

江崎企画調査官、藤原主任安全審査官、三浦主任安全審査官、  
伊藤安全審査官、杉原技術参与、谷口技術参与

東北電力株式会社：

原子力本部 土木建築部 課長、他3名

原子力本部 土木建築部 課長、他7名※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言を踏まえた原子力規制委員会の対応の変更について」（令和3年4月28日 第6回原子力規制委員会配付資料3）を踏まえ、一部対面を実施した。

## 6. その他

提出資料：

- （1）女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（地下水位低下設備）（O2-他-F-24-0001\_改0）
- （2）VI-2-13-1 地下水位低下設備の耐震計算の方針（O2-工-B-19-0069\_改1）
- （3）補足-600-25-2 【地下水位低下設備の耐震性に係る補足説明資料】（O2-補-E-19-0600-25-2\_改1）
- （4）女川原子力発電所第2号機土木構造物の耐震評価手法一覧（O2-他-F-01-0066\_改2）
- （5）女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（地盤支持性能）（O2-他-F-19-0001\_改15）
- （6）補足-600-1 【地盤の支持性能について】（O2-補-E-19-0600-1\_改13）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい、規制庁フジワラですと、時間なりましたので洞道ヒアリングの方始めたいと思います。まず説明のほうをお願いします。
0:00:11	はい、東北電力の橋本です。
0:00:16	まず一番の支持性能について説明いたします。ええと地盤の支持性能につきましては、本日の資料リストで資料 5 の回答する地盤支持性能の回答整理表と資料 6 の地盤の支持性能についての補足説明資料ということでこの二つを使います。
0:00:36	まず、資料 5 のほうをお願いいたします。
0:00:40	下のページ番号で、
0:00:47	はい。
0:00:48	34 ページになります。
0:00:53	135%んでこれ前回これまでの関連するコメントをちょっとまとめた形でいただいたようになっておりますけれども、H/G0 が関係において試験結果が得られていない範囲があることに対する
0:01:11	設計の保守性確認が本論であるということを踏まえ、Hや具等の記載も踏まえ課題を整理し、課題に対する確認結果等体系立てて整備することということで構成と整備のほうを、
0:01:26	見直して参りましたので参考資料 6、すいません。資料 6ー参考資料 26 のほうで説明させていただきます。
0:01:41	26ー1 ページをお願いいたします。図の 1ー1 の骨格設定に関する妥当性確認フローということで、こちらのほうで全体の説明の大不動を見直して参りました。
0:01:57	まず一番上が動的変形特性を求めるための試験結果ということで、これは前回から大筋の内容は変わっておりませんがまず試験結果としてせん断ひずみ 0.2%程度までデータが得られているということと、
0:02:14	その終了時に供試体が破壊していないということを説明しています。
0:02:20	次にその下に行って耐参照ですけども、次に解析上発生するひずみを確認するというので、これらの代表施設での発生ひずみが試験で確認している 0.2%を超えているところがちょっと
0:02:37	いうことで赤字で書いておりますけれども、試験ひずみ 0.2%を超えた範囲をどういふふうに設定していくかという課題が生じているということになっております。その仕方で第 4 章になりますけれども、では

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:53	試験範囲を試験でデータを得られた範囲を超えるところについてどのように変形特性を設定するかということで、その設定の方法、それから各解析手法での設定の詳細を記載しております。
0:03:10	で、このように設定することについて二つ確認しなければいけない事項が出てくるという考えて確認事項 1 として、そのように設定することが保管して設定することが妥当かということをごちら
0:03:26	考えの根拠となることを第 5 章で説明しております。もう一つは実際に設定した
0:03:36	設定方法で
0:03:39	耐震設計に対してどのような影響があるとかちゃんと保守的な評価ができていくかという観点で確認したのが、第 6 章という流れでフローを見直して参りました。
0:03:52	具体的な内容に入りますけれども、2 ページをお願いいたします。
0:03:59	動的変形試験の概要を示しているのはこれは前回と同じでございます。
0:04:06	3 ページで動的変形試験の結果、ここまで得られたという見られたということを説明としてはしておりましたけれども疼痛として改めてここに記載を追加しております。
0:04:21	4 ページでデータ取得範囲を超えてる領域での森どの状況ということで終了地の森度胸主体の状況を説明しておりますけれどもその前段として、動的変形試験が 1 掛ける 10 のマイナス 6 乗 $\times 1 \times 10$ のマイナス 3 乗の
0:04:40	ひずみ領域の変形特性を取得することを目的として基準化されており、それより大きいひずみ領域のデータを取得することは難しいとされているということについてこれまで
0:04:54	大ひずみを動的変形試験対等な難しいという話は説明しておりましたけれども、ちょっとこの文章が少しわかりやすい形かなと思って今回新たに要しております。
0:05:07	5 ページは前回と同じでございます。
0:05:12	6 ページは一部文言を修正しておりますけれども内容としては同じでございます。
0:05:18	7 ページの 2.5 のまとめのところで、この章で確認したこととして、
0:05:29	動的変形試験で $2 \times 10$ のマイナス 3 乗へと約 0.2% までデータを取得できているということの一つ
0:05:38	確認できた事項として追加しております。
0:05:43	次に参照 8 ページからが 3 相で等では解析上発生するひずみがどうかという確認の章に入ります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:52	2 段落目で
0:05:56	代表施設をどのように選んだかという考え方を追記しております。また廃棄東電楽ダクトについては、施設の周囲に改良地盤や隣接構造物がなく守人が広く分布しているので、
0:06:12	こうしたもとのひずみの状況を確認するのに適しているので、今回対象施設として断熱ということを追記しております。
0:06:24	9 ページ 10 ページすいませんちょっと黄色マークつけてなかったんですけども前回せん断ひずみの掲示が少し目的等かなってないところがありましたので、2%を超えるところがどこかというところを少しわかりやすくしております。
0:06:43	ただすいません 10 ページの
0:06:45	アクセスルートの斜面に寿司につきましては、ちょっと修正が間に合っていないということがありましたので次回ちょっとこれについても合わせて修正させていただきたいと思います。ご覧のように 0.2%を超えたところは 9 ページのアクセスルート斜面B。
0:07:03	それから 11 ページの廃棄東電楽ダクトえっと今回 12 ページの排気塔連絡ダクトでは有効力解析も実施しておりますので、それも別途追加して、
0:07:15	図示させていただいております。
0:07:18	13 ページの傍証点につきましては前回とちょっと乗せる順番を文書とあわせて書いてありますけれども、同じ内容ですが日すいませんとメモリというか、掲示の幅を 2%以上がわかるように少し修正しております。
0:07:38	で、
0:07:40	発生するひずみが 0.2%以上のところが結構ありますよということがわかります。
0:07:49	14 ページからは、
0:07:52	すみません。
0:07:54	8 ページになお書きですけれども、3.11 のときにさ面がすべてような被害がなかったという事を文書で書いてますけどもその詳細をアクセスルートの資料と同じ内容で記載させていただいております。
0:08:11	先日アクセスルートのヒアリングでいくつかコメントいただいておりますけれども、ちょっとそれにつきましては提出時期の関係でまだ反映できていないという状況でございます。
0:08:32	それが 21 ページまで続きまして、次に、22 ページに入りますんで 22 ページの内容はこれ以前は別の参考資料に別の参考資料の 21 で動的変形特性の設定という形で載せていたんですが、
0:08:51	これをここにこの資料の中に取り込んだ形で改めて記載しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:58	冷凍動的変形特性をもう一度につきましては、
0:09:08	ここでこの参考資料で述べている大ひずみ領域についてはせん断強度をもとに保管しているという話を 4.1 に改めて書いております。
0:09:21	4 点につきましては、では、そのような
0:09:27	補間した解析保管した物性値に対して採石場ではどのように設定しているかということで、4.2. 1 では等価線形解析及び全応力解析では
0:09:43	動的変形特性をそのまま解析上も設定していると等価線形解析では等価剛性を算定しているということでございます。
0:09:54	24 ページからは有効力解析でこれが前の参考資料 21 ーっていた内容をそのまま転載しているという形になってございます。
0:10:07	ここまでで設定方法の説明をしております、こう消毒相で、じゃそれが妥当なのかどうかという説明をしているということでありますと 28 ページはHDモデルにおける動的変形。
0:10:23	特性をせん断強度に転動させる考え方ということで前回の資料でいきなり修正GTGで設定するところに入ってしまったんですがそもそも基本的なといえますか、12 モデルで
0:10:41	せん断強度に全県させる考え方で整理されていてこれが一般に広く使われているということを示しております。
0:10:51	29 ページから
0:10:54	31 ページまでのGHモデルの説明は以前と一緒にございます。
0:10:59	32 ページ目からは少し内容を足したものになっておりまして、洞道的強度の考え方ということで、まず
0:11:09	最初に液状化影響の考慮ということで、森どの骨格だけでなく、全体として解析の保守性をどのように考えているかということで、最初の段落については土地 4601 の
0:11:26	文章を引用しておりますけれども、土地の評価。
0:11:32	町の留意点を書いてありまして、水の影響非常に受けやすく、駅法足タスマニアで記述でき地盤では液状化特性の評価が必要になる。
0:11:44	それから動的せん断強さに影響を及ぼす因子として、
0:11:49	繰り返し効果があり飽和した不具合や組織等では、なんかが生じて変化が偏見が増大しますよという留意事項が書いてあります。
0:11:59	以上のことを、こうしたことを踏まえまして、
0:12:03	地下水より深い位置の森度に対しては、
0:12:07	液状化強度特性を保守的に設定した上で、当液状化影響の考慮が必要な場合には有効で解析を実施することとしていると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:17	必要に応じて、
0:12:19	当然応力と有効力解析の評価を比較して保守的な貸し付けをするということで設計上の保守性を担保するという考えをお示しております。
0:12:33	5.3. 2 の動的京都と静的強度につきましては、前回も書いていた内容でございますけれども、繰り返し回数につきましては、別の資料で累積損傷度理論で、 $S_s$ による等価繰り返し回数が概ね 100 回程度以下である。
0:12:51	ということを追記しております。
0:12:57	5.3. 3 で物理特性の今の設定が妥当だという根拠として
0:13:08	さきの 2.3 に示す通り、もう意図が想定した取得範囲を超える範囲でも破壊していないということ。
0:13:16	それから、これはちょっと 6 章の先取りになってしまいますけれども、
0:13:20	共同下げた設定をとすることが保守的な結果を与えないということ。
0:13:25	それから実現象との比較として 3 ページ 11 による被害では、
0:13:31	すみません。
0:13:34	戻さ面でも被害が確認されていないということで、
0:13:39	今の設定と整合的であるということを書いております。
0:13:43	で、さらにこれはちょっと
0:13:45	解析結果を後でお示しすることになるんですけども 3.11。
0:13:52	確認した護岸の変位について再現解析を実施して今の設定が保守的であるということを示すこととしております。
0:14:03	すみません。
0:14:08	次に、34 ページからが大ひずみ領域の他の設定方法の保守性ということで、
0:14:15	内容につきましては前回、
0:14:19	あと
0:14:20	お示した内容とほぼ同じになってございますけれども、
0:14:35	そうですね故障が
0:14:38	一部語句を適正化しておりますけれども、前回お示した内容で
0:14:44	動的変形特性を、
0:14:52	動的変形試験のみに基づく変形特性に変えた場合これ全応力解析と等価線形解析の場合ですけども、
0:15:02	元の設定のほうが保守的な評価ができているということ。
0:15:07	そういう方、有効力解析の場合にはこの動的変形特性を変化としてもあまり耐震設計に及ぼす影響が小さいということを
0:15:18	確認しております。
0:15:25	49 ページ 50 ページで今までのことを

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:31	整理しております、以上のことからいろいろ高角設定に関する取り扱いが妥当だという結論に結びつけているということでございます。
0:15:46	以前の資料では液状化強度試験の再現についてもこの資料の中で述べていたんですが、
0:15:54	ちょっとこの資料の中に入れるには、少し目的が違うということで今回参考資料 21 ということに外出して、
0:16:04	以前この参考資料 21 というのはさっき言ったのHD曲線の設定のところを書いていたんですが、ちょっとそれを取り込んだ関係で、
0:16:15	21 の対と同等の内容を入れ替えさせていただいたという形になってございます。
0:16:22	すみません、ちょっと
0:16:26	他の番号変えないほうがあんまり大々的に変えないほうがいいかなと思って今回はちょっとこのような入替という形にさせていただいた次第です。
0:16:37	この項目についての説明は以上です。
0:16:43	説明ありがとうございます。質疑入ります。
0:16:47	規制庁のエザキですね、全体的な構成特性ですね。申し上げますと、ちょっと
0:16:56	一番最後の説明があった 7 章のまとめを 49 ページ以降ですけど、この辺のロジックがまだ十分整理されていないなど、このもとの資料だけを読む限りでいうと、全体がそう妥当性適用性といった補正とかいったものが、
0:17:12	どういった形で説明できていて、
0:17:14	実際には何を
0:17:18	主要なロジックとして、
0:17:21	論理構築されているのかがちょっと見えにくいかなと思いますんで、もう私たちとしてはもう何度も御説明してるんで、そちらの考え方はわかるんですが、過去の文書有無だけではちょっとわかりにくいと思います。多分。
0:17:35	うん。さっき最初に説明があった 1 ページですね、図の 1-1 のフローチャート、これと、
0:17:44	さっきのまとめ資料を両にらみで見えていかないと、思ってる資料の内容は把握できないっていうのが現実的に今、
0:17:51	現状かなと思ってますので、この辺整理いただく必要があると思ってます。
0:17:56	フローチャートの話で行ったときにいつも不毛だからそう合わせるということでは、だけではまだちょっとわかりにくいかなと思っていて、
0:18:07	妥当性とかそういった保守性といったものをですね、どのように説明していくかっていうロジックは、ひとつわかりにくい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:16	単純に言うと、
0:18:21	0.2%以降のデータ、以上のデータを高ひずみ領域がですね、データはないと。
0:18:28	そういったことで、それをどう
0:18:31	そうするか。
0:18:33	ということのフローでいただきに最終的に簡単に言うと、ここフローチャート売差6章って書いてあるところの
0:18:42	検証を行って相補性を確認補正に対する検証を行っている、それで一応確認できてるっていうのが最後の落ち度だと思っています。
0:18:52	多分そちらもそう変わらないもんだと思っているんですけど、見解は、そうすると、そういう副次的な説明をどこに加えるかってのはちょっと考えていただく必要があると思っています、
0:19:03	ただ、
0:19:04	そのロジックを組むということに全体的に行った時にですね、最初に言わせてもらうと動的変形特性を求めるための試験結果
0:19:13	ここで二つ目のポツなんですけど、ここで、
0:19:18	供試体が破壊していないことを確認してるだけなんで。
0:19:22	次のイベントですねフローの二つ目のイベントのところに話が流れないんですよ。だから、0.2%まで入れられているとそれでいて2%以降も妄想効率病気に関しても、実際はデータ取得可能な状態であったっていうことが、
0:19:42	その後、
0:19:44	発生ひずみでどこまでいってるかっていうことも含めて確認していくわけですよ。
0:19:49	あくまでも、この評価していただくってことだけだとか、
0:19:55	実際下のほうの
0:19:57	そう、フローの内容とですね、どこに何が結びついてるかって、
0:20:02	わかりにくいですよ。
0:20:03	単純に言うと0.2%以降もちゃんとデータは出再を図ろうとはかる方法やかかるものがあればわからないことはないということを言いたいんですよ、実態的には、
0:20:15	デフそうした話がちょっと
0:20:18	話の流れとして、
0:20:20	わかりにくいなと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:20:23	発生ひずみの二つ目のイベントで0.2%を超える範囲での設定方法というのを基本的に課題として挙げているんですがそこは基本的にはデータがないわけですから、それは安全側に
0:20:38	データを構築費用というのが、
0:20:42	東京電力の基本的な考え方ですよ。
0:20:46	そう考え方が一つ。
0:20:50	どこにも読み取れないなんていうのはあります。
0:20:53	それが、
0:20:55	我々としては、不下のイベントのせん断強度に関する曲線っていうところに表れているんだけど。
0:21:02	このフロー見るだけとか、後ろの求め資料では読めないんですよ。
0:21:06	全体的にも説明としては何度も受けているので、考え方は理解してるんですけど、この資料からはそれが読み取れない。そこが一番ネックです、いわゆる安全側に設定しているものを安全側であることを最後検証したって落ちなんですよ。
0:21:22	結論は、
0:21:24	ちょっとそこが、
0:21:25	致命的に説明が足りていないということだと思うんですが、口頭では何度でも聞いてるんだけど、それから資料としては、また落としていない。
0:21:34	っていうことだと思います。
0:21:37	あと、
0:21:38	塗装安全側に決めるためにはどうしたっていうことで静的
0:21:43	強度試験のセンター強度に関する顧客防ぐ行つたとその考え方、安全側っていうのは何故かっていうロジックわかり不定多分これっていうのは、
0:21:53	RCでも有限要素法を使ったいろんなことを計算する段階で考えれば、剛性を高めに設定しておいたほうが応力は大きくなるのは科学的に理論的に必然的な話なので、それを
0:22:11	決めてるとするある種の設計で我々もそうですよね。
0:22:14	高めに評価すると剛性を拡張したら、安全側になるっていうことでそれが応力なんですかしたら、
0:22:21	はい。
0:22:22	剛性を高めて評価することで、地盤能力を
0:22:26	保守的に評価するといったことでその安全性を確保しようとしたわけですよ。そう確保するために、6まで上限値を与えずどこの仕様値にして決めればいいのかっていうのが静的せん断強度も

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:42	もうせん断強度を用いたって話があって、
0:22:46	多分確認 1、
0:22:48	事故の①に書いてある四つの三つの丸ですよ。
0:22:53	これっていうのは、基本的にはこういった
0:22:57	HDモデル。
0:22:59	とか、GIT
0:23:01	の観点からすれば、
0:23:03	一つの指標として静的せん断強度等を用いる方法というのが、
0:23:09	作業的に使われていますまたは、
0:23:12	研究論文としてもありますと言ったことでそれを踏まえた上で、
0:23:17	三つ目の
0:23:20	そう。
0:23:21	動的
0:23:23	変形特性の保管の考え方というところに行き着くんだらうと思うですよ。
0:23:29	まずここまでですけれども、いかがでしょうか。
0:23:34	はい、東北電力の橋本です。
0:23:39	まずまとめが、ただ羅列になってしまっていてちょっと
0:23:45	ここを読んだときにいい考え方がよくわからないということと、あとフローとして、
0:23:52	まず安全側に設定するって、耐震評価として安全側に設定するという監事の設計思想がちょっと
0:24:03	記載がないということであとフローの中でも、
0:24:09	各章ごとの繋がりが、
0:24:12	ちょっとうまく繋がっていないということかというふうに受け取りましたので、
0:24:20	そういったことを踏まえてわかりやすい資料にちょっと修正させていただきたいと思えます。以上です。
0:24:30	規制庁の矢崎です。それですね、49 ページのまとめ資料のほうはまとめ資料でまとめの七つをまとめに戻りますけども、
0:24:39	例えばこの表現もそれより前のページもよく使われてるんですけど、この特に確認事項①の中で言って 123 社。
0:24:50	三つ目までの話って、
0:24:53	ちゃんと書かないとわからないんで、一つ目のポツっていうのは、
0:24:59	これは等価線形化法の話でもあるけども、一般的な地場ディーゼルを補完する方法ということで、次の次の時STとか、
0:25:10	そういうことを解析の話にも繋がる話ですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:14	それがわかるようにしないとイケないですよ。
0:25:18	言ってる意味わかりますか。まずこれが基本なんですよ。
0:25:22	そもそもの基本概念なんですよ。
0:25:25	そのあとGTGっていうのは基本的には、
0:25:29	その一つ目のポツを追うのやったことをそのまま
0:25:33	トレースできる手法ですよ。
0:25:36	それを使います。それに対して論文では静的強度試験を設定することはそう実験によっても有効性が示されているっていう、それによって基本的には静的強度を使うと。
0:25:52	ですよ。
0:25:53	こういう
0:25:54	なんて言うんですけど、根拠っていうか、ものがあるですよ。
0:26:00	で、
0:26:01	続いて言いたいのがですね、これらはまず修正GETは何なのかってもういきなりこう入っちゃうんですけどこれはあれですよ逐次非線形で応力逐次非線形の話をしているんですよ。
0:26:13	一方で、三つ目のほうは、
0:26:15	有効応力解析なんですよ。だから、最初の出だしが有効ウオーク解析においてはとか全応力の逐次非線形においてはとか確保といったことが書いてくれないとわからないですよで一番上のポツは等価線形
0:26:30	及びはですね、あと、
0:26:33	一般論の話ですっていう話ですねにおいてはだと思んですけど、そういったことが、
0:26:37	書いてないから。
0:26:39	全部結びつきがわからないですね 1 個
0:26:43	ちょっとこの辺は、これはもう適正化の話だと思うんですが、ちょっと適正化を考えていただきたいなと思います。これが全体的にですねさっきのフローチャートが始まってもう 1 個防潮とともに、こちらはロウ 2 波ですね。
0:26:59	再整理していただきたいなと思ってます。そうすると全体的に同じような
0:27:06	文章が、この辺のページ無 33 ページとかかと言ったことが現れますから、それとともにもししい文章適応を適正化。
0:27:18	するだけでなく、ちょっと層相データを組み直したりする必要があるんだったらそれもちょうと考えていただいてわかりやすく資料を作っていただきたい。
0:27:28	ということです。
0:27:30	通学わかりにくいん中には、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:34	で動くか 49 ページに戻っていただくと。
0:27:38	さっきちょっと聞き逃したんですけど、49 ページの一番一つ下のポツで、動的変形試験の部分のいわゆる平成 23 年の
0:27:49	また書きで平成 23 年の話があるんですけど。
0:27:53	これどう話っているのは、この中で組み込ま妥当性通すとかそういった部分。
0:28:00	そう根拠として何か必要ですかということなんですけど。
0:28:06	これってコメントは確かあるんだけど、これってどちらかっていうと、液状化強度特性の
0:28:15	検証として整理いただきたいと話したので、別立てのほうがいいかとは思ってますが、どうお考えですか。
0:28:24	はい。東北電力の橋本です。49 ページの最後の土地につきましてはおっしゃる通りこの資料としては少し傍証的な感じなのでまとめとしては記載しなくてもいいのかなと思っても明日それから
0:28:43	護岸の変位での再現解析につきましては資料としては先ほど追加したと申し上げましたの趣旨を参考資料 21 に液状化強度試験の再現解析場の再現ということを
0:29:00	記載しておりますので、その関連のほうの資料に追加するのが適切かなというふうに今考えております。以上です。
0:29:10	規制庁の木です。これは別途また整理していただくという形でよろしいかなと思いますっていう理解しました。
0:29:17	あとですね、
0:29:19	これは先ほど説明があったんですが、
0:29:22	14 ページ。
0:29:25	これはアクセスルートのほうに、のほうで詳しく説明されていくということで、
0:29:30	この当該箇所からは一応、
0:29:34	はい。外すという評価するっていうふうに聞こえたんですけどそれをしいですか。
0:29:40	そういうことでございます。
0:29:42	はい、東北電力の橋本です。一応
0:29:49	ですから、その実績、
0:29:52	地震におけるもう一度斜面の実績として、なお書きではありますけれども引用しているので、内容についてはこの資料にもあったほうがいいかと考えてちょっと重複してるのはちょっと承知で載せたんですけど、
0:30:08	同じ資料の内容がちょっと複数の資料に載ってるのがちょっと、ちょっと性
0:30:15	今後招くということであればちょっと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:17	再考することも含めて考えたいと思いますが、既設のエザキですが、中ですね、本文とその中でそうロジックの層、
0:30:27	これ骨子として、こうした方が必要であるのであればですねそれは残していただいて結構ですんで我々としてはそれを除外しなきゃいけないって言うわけではないでしょうか。考えています。
0:30:39	そう。東北電力で行ってた話が御確認しただけです。
0:30:43	実はここで申し上げたが申し上げたかったのはですね、まず 14 ページ時の表 3-1 の加速度ですね。
0:30:56	補足速度っていうのは、実際に点くを是正すると。
0:31:01	比較していただきたい。
0:31:03	というのが一つですが、Ssと比べてどうなのかという整理をしていただきたいなと思ってます。
0:31:10	多分これでちょっと気になってるのは、
0:31:14	今ここで地震観測点。
0:31:17	っていうのは、実際に基準地震動
0:31:22	を作るときに、一応
0:31:26	敷地の
0:31:27	観測点として使っているところで、というふうに解釈してますが、それでよろしかったでしょうか。
0:31:34	はい、東北電力の橋本です。はい。ここは
0:31:40	ちょっと地震の観測の話なので再度後で確認したいと思いますが私の記憶としてはここでの観測を使ってはぎ取り解析としてという認識ですはい。
0:31:56	実際にOP-8.6 っていうのが解放基盤面相当の標高になってくるわけですけども。
0:32:03	そうしたときにそのの辺り機能は例えばNS方向で 467 と 421 ということで比較的小さい。
0:32:11	実際に言うと、
0:32:13	要するにSD湾で 640 ぐらいですよ。
0:32:16	そうすると、かなり小さいっていう話なんだけど、ただ、これって燃やす 8.6 っていうのは、
0:32:23	いわゆる
0:32:25	E+F上昇方は、
0:32:27	その反射の剛性派じゃないですかって言う話で、多分 2- が数多くなるという傾向がありますんで。
0:32:37	多分、1 点。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:38	ぐらい大きくなる可能性があるのですよね、いわゆるSsと比較するときにはですね、3ページの波が大体、例えば2としてどうだったのかって見せるのか、それとも、Ssのほうが、
0:32:53	前なさってん6としてE+Fで見せるのか、どちらか一方じゃないとおんなじ土俵で比較できないと思うんですよね。
0:33:02	それはいかがでしょうか。
0:33:06	はい、東北電力の橋本です。おっしゃる通りここに記載されているの観測値ですので、E+Fの辺りになっています。
0:33:16	基準地震動のほうは、そういった点になっておりませんので今おっしゃっていただいたどちらかの方法で比較するのが直接比較するであれば妥当だったかなと思いますので、ちょっと検討したいと思います。
0:33:32	規制庁のエザキですね、ちょっと津波にこれはちょっと事実確認したいんですが、多分そう3月11日の地震で
0:33:41	リアクターのところのベースマットからでも取って、
0:33:46	そうはぎとりは
0:33:51	解放基盤も相当のE+Fの関係ってどうなってるんですかね。
0:33:56	数字がどうこうというよりは、早期会社としての取り扱いの位置付けをちょっと聞きたかったんですけど、それから正式ばそう。
0:34:05	3.1 シノ
0:34:07	海部基盤面相当で言っているSsと比較する地震動は、
0:34:12	今までどう扱ってるのかだけちょっと確認取りたかったんですけど、それから御説明放射とか、多分900相当に説明してる正式なバージョンだと思うんですけど。
0:34:23	今回新たに正式なものだということ、先月なされてもいいんですけど、例えば、
0:34:29	設置許可の段階でもきつとやってますよね。
0:34:33	多分です、基準地震動をつくる上で、その3.1シノ時の話を振り返って、
0:34:40	ある程度話はあるとかあったかと思うんですけど、その辺のものと今回示しているものがどういう位置付けになってるのか社としての位置付けと我々国側のほうに説明している扱い等どういう位置付けになってるのがちょっと我々では把握できてないもんですから、
0:34:57	その辺をちょっと説明いただきたいんですけど。
0:35:01	はい、東北電力のハシモトでそこについては改めて確認したいと思いますが、私の記憶では指導で示している地震観測点の記録で
0:35:14	していたと思うんですが本店のほうで、誰かわかりますでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:19	統合項目イトウ水の建築士アノンできますので後程回答しますがけれども、私も同じ認識で自署観測点のところもはざと解析をしたものがSs比較しております、
0:35:35	実際が一番大きいベースをもっとデータ地震観測もしてますけどもそちらのほうへと本確認を農林自身にとっても認識してます。以上です。規制庁のエザキです。今の話であると理解しましたが建築さんのほうでまた
0:35:56	こられてまた説明いただければまたそのときに説明いただければと思います。
0:36:01	私からは以上です。
0:36:13	規制庁スギハラです。
0:36:16	最初にエザキさんの方からいろいろコメントがあったんですけどそれを
0:36:22	受けてまた持ってこられるみたいですね。
0:36:26	それからを拝見させてもらったほうがいいかもしれないんですけども。
0:36:30	とりあえず今を見ました。見た範囲ですね、ちょっと
0:36:37	隣にちょっと確認させていただきたいなというふうに思います。一応
0:36:44	皆さんの方がですね、許可の段階で確認された。
0:36:50	／ことは一応それはそれはそれとして尊重してですね範囲の中ですねちょっと確認させていただきたいと思っております。
0:36:58	私のほうからはですねを参考 26-32 の第 5 章のところなんですけども、動的強度の考え方っていうところですねちょっと幾つかちょっと気になったことがあったんですけども。
0:37:18	この動的強度と静的強度っていうところの内容なんですけども。
0:37:24	この塀私ども改善ですね、
0:37:33	静的な歳以下でのせん断ひずみ限界、これ 14%とかというような数字が出た市場が以前あったんですけども。
0:37:43	あれはまた採用される話なんですかね。
0:37:48	この資料の中で出てこなかったんですけど。
0:37:51	私が以前ちょっとコメントさせてもらったのは、
0:37:56	性的な差異化での共同の時にですね。ひずみ原価 14%ぐらいまで大丈夫なんですよっていうことを
0:38:05	示されて、それから項番最下でのひずみ限界としての代表が可能ですよっていうようなですねそういう。論旨の回答だったと思うんですけども、
0:38:20	それのですね、直接
0:38:25	回答するようなところがこの
0:38:27	ものを 3-2 の所位置付けなのかなっていうふうになんかちょっと思ったんですけどそこら辺はいかがなんでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:41	はい、東北電力のハシモトですねと今回つけておりませんが、
0:38:50	目次に戻っていただくと、参考資料中 8ノ森と旧表土の強度特性設定の考え方というのが仰ってる資料かと思しますのでそこでは
0:39:05	教頭特性として
0:39:09	何といたしますか
0:39:11	いわゆるというか、残留強度として我々は設定しているものが健全強度と呼んでいるもので、ピーク強度としてあらわれ
0:39:25	試験結果がピーク強度として頭が出ないので、
0:39:30	その試験しているひずみの範囲では、その共同使っているというような内容で説明させていただいておりました。
0:39:42	こちらでは
0:39:47	そうですね
0:39:49	静的
0:39:51	試験に基づいたものを動的解析であっても使うんですけれども、
0:40:00	そうですねちょっととその直接的な回答の 2、ちょっとこの文章ではなく、
0:40:08	できて回答し切れていないですかね今の
0:40:14	御指摘というかは
0:40:18	いわゆる
0:40:21	試験として
0:40:24	そのひずみまで試験はできているけれどもそれを
0:40:28	動的解析交番再力一なってますかね、動的解析、
0:40:35	の評価として用いる京都に使うのが適切かという趣旨でのコメントでしたでしょうかすみません軽いですので、はい。いわゆる相当
0:40:47	そうですねちょっと
0:40:50	文章も少し検討したほうがいいのかもしれないですけども言いたいこととしては
0:40:56	もう一度の女川の森どの場合十分。
0:41:01	かなり締め固めた施工管理して締め固めたものとしておりますので、
0:41:10	直接的な結論を記載できていないかもしれないですけども
0:41:15	静的強度を持ってその動的
0:41:18	解析の評価に使う用途としては妥当だということに繋がっているちょっと書き方に書き方というか、
0:41:28	書き方がうまくないですけどもそういう意味で書いております。
0:41:33	わかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:41:37	さっきのエザキさんのコメント等によってですねこら辺の書き方っていうか位置付けもちょっと変わってくるかなっていうふうに思うんですけども、
0:41:49	ここで石原先生の中の既往文献Aを引っ張ってこられてるんですけども。
0:41:56	私もちょっとこれかなり古い図書でちょっと人から借りてちょっと読ませてもらいましたけれども、
0:42:04	ちょっと内容的にはですね、もう少し丁寧に書かれた方がいいんじゃないかなっていうふうに思ってますというのは、ここで書かれてる内容についてはですね、多分先生は不燃性どの話。
0:42:20	されてましてですね。
0:42:22	それからコーダ締固めタフをワードで割っているような言い方で書いてありますけれども、これは直接文献では燃性とかって書いてあったような気がします。
0:42:35	歳出やねん制度とかですねそういった土質がどうなのかっていうこととかですね、それから、
0:42:45	応力状態がどうなのかっていうふうなことが縷々限定的に書いてあって、そんな中でこういうふうな結論めいたこと、結論めいた動的強度が静的強度を下回らないっていうふうなですね、こういうふうなことが、
0:43:00	あるんでもうちょっとこら辺は丁寧に書かれた方がいいんじゃないかなというふうに思ってます。
0:43:07	それは可能な範囲でですね、そういうことをちょっともう少し正確な記載を進められたほうがよろしいかと思えます。
0:43:18	それから、
0:43:21	よろしいですか。
0:43:24	東北電力のハシモトです文書についてはちょっと今いただいたコメントも含めて再考したいと思います。あとおっしゃっていただいたように資料の構成をちょっと少し変えたいと思っております、この保証全体、
0:43:40	下委員がですね、根拠というか、動的変形特性を設定する上での参考とした考えになるかなというふうに思ってますので、ただ、ちょっと記載が丁寧でないっていうのはおっしゃる通りかなと思えますので少し
0:43:59	再考したいと思います。
0:44:01	炉注お願いします交番最下とかっていうことですね。そう静的な1方向最下とかですねそういう話もありますし、
0:44:10	単純にその動的再かといってもですね、再加速度だけの話なのか。
0:44:17	とかですねそら辺はちょっと
0:44:21	もう少し配慮されて書かれた方がよろしいかと思えます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:27	それから、
0:44:32	これちょっと前以前立ち話でちょっと話が出てきたかもしれないけれども、
0:44:40	今回の
0:44:41	へえ繰り返し3軸、試験の中で、ひずみが計測できなかったっていうのは、大型供試体議員になって結果的に往査以下スピードが大きくなったことに追従できないことが、一応、
0:44:59	原因だっというふうに説明があったんですけども、
0:45:05	ちょっと私、ちょっとわかり理解ができないのですね、今回同しようオガタ、供試体A系が300の高さが600ですか。
0:45:17	供試体OGで新たに液状化強度試験を追加されてますので、
0:45:26	そんな中では一応ひずみの大きさとしてはですね%オーダーが10%ぐらいになるようなひずみが、
0:45:36	その液状化強度試験のほうで出てると思うんですね、そちらのほうではひずみの大きさがこれ結果的に出てるんですけども、
0:45:47	今回のですね、ここで大型供試体を対象としたらその繰り返し3軸試験、
0:45:57	これ基本的に試験方法
0:45:59	排水条件ですとか、それから供試体サイズ、試験機そのものも日非常によく似通って同しようなものじゃないかと思うんですけども、そこら辺の違いがですね、どうして出てきたのかっていうのがちょっと
0:46:15	理解がちょっとしにくかったんですけどそこら辺ちょっと可能であれば説明していただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。
0:46:24	はい、東北電力の橋本です。参考26-6ページをちょっとご覧いただきたいんですが、
0:46:34	ちょっとここもあっさり書き過ぎているかもしれないんですけども
0:46:40	1行目の終わり方動的変形試験が出てん0.01%程度以下の片振幅ひずみを与えるように整合及び測定可能な条件を区別する必要があるということで、一つには、
0:46:55	動的変形試験のほうはひずみレベル、0.001%なので10のマイナス5乗オーダー。
0:47:05	のところを精度よく計測する必要があるということが一つありまして、
0:47:14	で液状化強度試験でやってるところだと
0:47:18	軸ひずみが振幅量ひずみで10%なので、ストローク60ミリ。
0:47:26	0.001mmというかなとそういう制度の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:32	ものがなかなかはかりにくいということが一つあります。もう一つ動的変形試験のほうにつきましては、先端弾性係数を求めるのが目的になっておりますので、繰り返し回数を
0:47:49	仲介とか繰り返したときにそこで安定した
0:47:57	先端弾性係数が求められるという。
0:48:02	ことがありまして、ただ液状化強度試験ではちょっとその変形係数を直接求めにいったわけではないので、そこまで
0:48:13	まずその安定性を厳密には要求していないということの二つが大きな理由になって液状化強度試験のほうではおつきなひずみまで試験できているけれども、動的変形試験では精度よく系統ひずみを計測することができないので、
0:48:32	試験としてはそこで終わっているという違いがあるというふうに認識しております。以上です。
0:48:41	スギハラです。ちょっとそれまだ全部理解してないかもしれないけど、要するに測定レンジに対する計測器の制度みたいな問題で、
0:48:52	液状化の場合は非常に大きなひずみまではかれるから
0:48:59	はかる測る必要があるから、それにみあったような計測で測ってる四つそういう意味ですか。
0:49:08	黒点力のハシモトです最初のひずみの計測の件につきましてはおっしゃる通りでおつきなひずみに対して瀬戸内っちゃいひずみを精度よく測るのがちょっと難しいというのが規程上、一つ。
0:49:24	で後のほうで言いましたのは、液状化強度試験のようにだんだん時草応力が大きくなってひずみ量が大きくなってくると、繰り返し回数が増えるに従って
0:49:41	歪量が大きくなってるので、安定したいいわゆる応力ひずみ関係のループが安定しないので、先端弾性係数を何とか求め立てないというか、
0:49:59	そういう問題があるというふうに認識しております。
0:50:07	すいません熱水粗です。何となくわかるような気がするんですけど、これちょっと
0:50:16	部署になかったの簡単に書くことにはできないんでしょうか。可能じゃないでしょうか。
0:50:23	はい、東北電力の発信元ですここでは
0:50:27	液状化強度試験の供試体
0:50:31	の状況を参考にできるという意味で共通な方法を書いておりますけれどもちょっと補足して
0:50:40	違うところについてもう少し補足したいと思います以上です。私申し上げたのはですね

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:47	今日はこれこの一貫してですね採取A10のコンマ2%以上のひずみについてもですね、計測できるんですよとは計測できるすみません供試体は
0:51:03	大府壊れていない。健全な状態にあるんですよ。だから、それ以降いろいろを設計上の配慮とか工夫をしますよってということで、合わせてこういった物性の設定をされているわけなんですけども。
0:51:19	そのきっかけのですね、いわばエビデンスに近いような話なんで。そこんところはですね、書いていただいたほうが全体の流れとしてですね非常に説得力があるという話だと思うんですが、いかがでしょうか。
0:51:36	先ほど申しあげましたように
0:51:40	東北電力の橋本です。
0:51:44	大ひずみを測れないところの
0:51:48	補足情報としてとこの波少し記載を充実化させるように検討したいと思います。
0:52:00	規制庁のエザキです。
0:52:02	今言ったことをちょっと私なりにちょっと要約してみたんですけど、それで正しいかどうかちょっと確認したいということなんですけども、いわゆるこの動的変形特性っていうのは、剛性を求める。
0:52:15	剛性求めるっていうことは、割とそういうひずみ速度とかひずみの増部分というのはすごく重要になりますのでこれRCでも何でもそうなんですけど。
0:52:24	一方で液状化試験の強度試験なんで、不逆に言うとそのそれほど先生部の話はないということで割と総工費済み容器言った時のある程度の
0:52:37	生徒観点マクロに早くすればいいということも人言い過ぎかもしれないけどあるので、基本的に言うと、ある程度高ひずみ領域を、
0:52:47	発行継続してもそんなに問題にならないけども、そう復元力特性って有効性を求める場合お客様そうですけど、そうした場合には、割と先生と話が多いので制約多いので、基本的に諮らないことも多くなってくると。
0:53:03	そういうふうにならなくて聞かれましたがそれで間違いなかったでしょうか。
0:53:07	はい、東北電力の橋本です。ちょっとうまく説明できなくて申しわけありませんでしたけど今おっしゃっていただいたようにお動的変形試験のほうでは少しルートが厳しく決まっているところがあって、一方と液状化強度試験というのは
0:53:23	さていただいたように強度を求めることになってますので、を使うなんて難しい試験の仕組みとしてはほとんど同じですけども、計測したり、あとその制度とかが計ったりする制度が違うということで、
0:53:39	認識しております。以上です。
0:53:52	ちょっとこっからは細かい話でいいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:57	それに 37 ページ。
0:54:00	あと、
0:54:02	いわゆる
0:54:04	地場持続曲線
0:54:07	図の 6-5 で同じように、図の 6-8 なんですけど、これは多分ですねこう変化ケースっていうか、
0:54:14	LIBOR実ロックした場合の
0:54:18	極産科医てると思うんですが、
0:54:20	ちょっと基本ケースと比較できるように、
0:54:23	重ね書きできないでしょうか。
0:54:29	はい、東北電力の橋本です。はい。すみませんでサイトウ。
0:54:35	44 ページのやつは両方比較できるように書いていたんですがちょっと 37 ページGとかのやつは、
0:54:43	単純に書いてしまっていたので、ちょっと工夫させていただきます。以上です。
0:54:52	有効応力の場合は、基本的には基本ケースって、あれなんですけど。
0:54:56	実際に含めて、
0:54:58	上げてるわけだから、低くした場合のケースと、
0:55:02	それがわかるようにしていただくと。
0:55:05	この解析の意味合いとか、よりわかりやすくなると思いますのでよろしくお願ひします。それとですね、あと、
0:55:16	ただ、
0:55:17	1 ページ戻りますけども、
0:55:19	ちょっと 1 ページのところでききなり概要っていう形が入ってきちゃうんですけど、その前に取り扱いについてという、ここの部分がですね、目的、
0:55:30	フルード言ったほうが、
0:55:32	全体の流れがわかりやすいかなというこ 1 ポツ埋まり 0 ポツつつあってそこにそう目的。
0:55:41	26 日ですね。うん。1 ページ目の、戦闘ところで目的等がこれをやることになった送付計画 6 をツルカイていただいて、そのあとにつなげていただくっていうほうがわかりやすいと思うんで。
0:55:56	ちょっといきなりいここから風化鋼板概要が始まってしまうとちょっと
0:56:02	そう全体何をしようとしてるのかっていうところがちょっとわからないと思うんでその辺の
0:56:07	わかるようにちょっとつけどこ図書の位置付けがわかるようなことを書いていただければと思いますがいかがでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:17	はい、東北電力の橋本です。すいません目的については再三御指摘を受けているところですが、ちょっと頭の中でこの妥当性を確認するというので書いたつもりになっていましたが、
0:56:29	ちょっとこれではやはり何のためにやっているかがわからないので、おっしゃっていただいたのも含めて、そこも最後から簡単に言うと、
0:56:39	もうせん断ひずみ 0.2%以上の高ひずみのところではデータ言われていないと、それに対してそれが妥当であるかどうかで知見、
0:56:50	こととして妥当なのかということで設計に適用するお取り扱いとしてはどう。
0:56:56	そう。
0:56:58	設計上安全側に取り扱うことが可能なのかそれに関して検討しているっていうことですよ。簡単に言うと、そういった話がわからないとする先内容やることがやっぱり入りにくいと思うんですね、わからないと考えるればただわかりにくいと思いますんでその辺は心がけていただければと思います。
0:57:17	はい、東北電力の橋本です。了解いたしました。
0:57:28	規制庁浮上ですと私のほうは、今日エザキが申上げた通り向性がすごい
0:57:36	わかりにくいって例えば浜松とも同じような話なんですけど、参考 26-49 とかの確認事項①とか、確かなんかたくさんあって、
0:57:47	どれが主なんだろうというところがあったんですね、
0:57:51	もし渡してくればたら、例えばもうちょっと階層構造はつきりさせたりとかですね
0:57:58	今の漂流物の方の各社の審査会合制度化 7/ちゃんとある程度階層出して作ったり、或いは地下水の浸透流解析のほうも多分同様でやっても女川として、
0:58:11	東北電力さんな気候努力されてるんでもそういうのも、
0:58:15	参考にされてもいいのかなったら、
0:58:18	ですからその根本にあるのは要は論理の説明だと思うんですね。要はあれ論理っていうのは、様々なすん状況を並列に絡めて結論に至るという過程もありますし、それ以外に及ぶような
0:58:33	直接的に物事を並べて論理をきちっと説明する流れと当然あると思いますので、
0:58:39	なので、多分確認事項①の一番下のポツ、今後先ほど話があったから繰り返されるかもしれないですけど、この丸の中も日本語だけの話ですよ何々してること、また何々していることから、何々がわかるってなってるんですけど。
0:58:56	この 2 行目のまたのまた繰り返しで恐縮ですが平成 23 年ってということから、何年度分かるのほうに全然結びついてない。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:06	ですね、何で単に日本語だけ取ってみてもちょっとそこはちょっとわかるように直立、
0:59:18	それを
0:59:24	そうですね。確認進め決結論確認する確認した。
0:59:28	確認した結果をもってちゃんと結露ロジックですか、この最終的な目的地のところの確認事項①の
0:59:37	書いていると保管することの妥当性ですよね。
0:59:40	だから、この確認事項、これちょっと多分後でいろんな流れを変えるから多分いろいろ
0:59:48	変わると思うんですけど、要は示したいことに対して、ちゃんとファイルスーパ一れる事ですと直接的な。
0:59:56	流れを持ってそれは集約的にその妥当性を確認するというのは単純ですので、説明の話だけを申し上げていますのでそういう観点で今後、きちっとロジックを組み立てていただけませんかというお願いです。
1:00:11	はい、東北電力の橋本です。いただいたコメントも参考にちょっと組み直したいと思います。ちょっと
1:00:18	最後の確認スルーはちょっとこの確認事項①全体が少しいろんなものを集めて補強したいという思いが強過ぎて、今後やるやつもちょっと書いてしまったというところがありますので、それも含めてちょっと
1:00:38	負債と思います。
1:00:40	以上です。
1:00:43	規制庁形状ですね、普通はどこも幾つか確認なんですけどもこれはと参考 26-32 の 5-3 の 2 ポツの記載内容ですね。
1:00:55	この出戸 2 パラ目のまた書きのところなんですけども、
1:01:01	ですから、もともとのコメント、冒頭、何かいいデータをこちらからのコメントダテ中の
1:01:08	ジャックとか踏まえて何か説明するみたいな話ですね、こちらからのポイントが、
1:01:15	本年、
1:01:16	確かそんな時はなんか
1:01:20	いや、こういった強度のやつも何か、そういった弱とかに書いてないんですかって話を確か申し上げていたと思いますね。弱はもしかしたら上の 5-3-1 で書いてるから回答してるのかもしれませんが、そもそも 5-3-2 のまたのところですか。
1:01:36	既往の地盤安定解析、こちら当然弱をもとにしてですね、若干、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:42	当該社形成できるように使っているところ沼津す綾瀬崖働けないで結構ですけど。
1:01:50	今、輸送それそういうのをちょっときちっと書いたほうがいいのかということ。
1:01:54	一番ちょっと言いたいのはこの通例である締結で書いてあるんですか。
1:02:00	余りにも続けてなんか続 5 滴先行実績とか適正な
1:02:06	を使っていたきたいと思うんですけど、よろしいですかね。
1:02:12	はい、東北電力の橋本です。すいません語句については、ちょっと見直し見直させていたきたいと思います。それから地上げにつきましては
1:02:24	せん断強度を用いるということは書いてあるんですけども特に試験の内容について詳しくは規定されていない感じになっておりまして関連していいよ的なおっしゃっていただいた 32 ページと、あと、
1:02:40	23 ページのほうで地盤安定解析のものは動的解析例線形または等価線形解析による検討を行うことを基本としたというあたりが規定されているということで、
1:02:56	引用できることは引用して、
1:03:00	したというのが実態となっております 32 ページの 5.3. 2 のところにつきましては先ほどいただいたコメントも含めて、
1:03:12	記載自体を少し検討させていただきたいと思います。以上です。
1:03:18	規制庁の時ですがちょっと気になったんだけど、こうまで約事業者したりするっていう話はいいいんですけども。
1:03:27	そのあと、動的静的強度の話もね。
1:03:30	あれ実際に言うと、アクセスルートとか、
1:03:35	設置許可の滑り安定性、
1:03:39	道路土工を参照してません。
1:03:45	東北電力の橋本です。すいません設置許可のアクセスルートの評価について建てか答えられますでしょうか。
1:04:00	。
1:04:01	記
1:04:03	電力も、今の訂正当女川の地盤安定とあとアクセスルート上は基本的にどこに準拠していないんですけども、
1:04:15	ちょっともし間違ってたなら申し訳ないんですけど、この選考の中国さんとか島根さんとかで、そういったものを使ってたかなというふうに思っておりました。以上です。
1:04:27	ハシモトです。今準拠していないというふうに
1:04:32	聞こえたんですが、間違いでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:04:38	おっばい
1:04:39	ちょっとどれに東北電力による訂正と道路土工に基づいた評価というものを、 を実施していないということになります。
1:04:50	もっと
1:04:53	集めて、
1:04:55	すみません、東北電力イトウです住居業況共同について隣に住居しているとい うを表現していないということです。
1:05:08	規制庁のエザキですと円弧滑り法とか、例えば、
1:05:12	安全率 1.0 とかですね、そういった方多分どこから引っ張ってきてたと思いま すし、全部じゃないんですよ。基本的概念とかが部分的に逆も基本的には道 路土工とかそういったものも 19983 ですか、運用するっていう話を参照してハ シモトになっていて、
1:05:32	だから、ある程度間接的とかそういう部分で関係してんのかなと思っていて、
1:05:37	実際私のほうで御仕上げたかったのは、そこを確認したいということではなく て、道路土工それを
1:05:45	使っているのであれば、道路土工
1:05:49	その観点で、
1:05:51	もう少し
1:05:52	加えるものはありませんかということで確認してくださいってことを言ったか ったんですけど。
1:05:58	言い方が今のところですが、
1:06:02	はい、東北電力のハシモトです
1:06:05	道路土工の規制についても確認して
1:06:10	その運用すべきところは参考にしたいと思います。以上です。
1:06:25	以上です。
1:06:42	はい。それでは参考資料 24 のほうの説明をさせていただきたいと思います。
1:06:48	21 につきましては先ほど言いましたように
1:06:54	もともと 26 に入れていたものをちょっとこの
1:06:59	資料の中に入れるのは適切でないかなということで、相当足しにしたというこ とで、内容については変更しておりません。
1:07:08	24 につきましては
1:07:11	整備としては記載適正化ということで修正してございますけれども少し説明さ せていただきたいと思います。
1:07:20	参考資料 24 のですね、まず、
1:07:29	5 ページをフリースを結んでも 3 回イトウするの。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:36	建築上載こられたので先ほどの
1:07:41	地震動の説明を改めてお願いしたいと思いますけども、よろしいでしょうか。はい、お願いします。内容は理解されてるということでよろしいですかね。お願いいたします。
1:07:55	はい。
1:07:57	はい、東北電力アイザワです。
1:08:00	資料 6 の 26-1、14 ページですけれども、ここで示しております加速度というのは、
1:08:10	それぞれの観測点位置が地中になりますけども、地中での観測記録の加速度を示してございまして、
1:08:19	当時、この地震が起きた当時の基準地震動として設定していたものとも比較に当たりましては、
1:08:28	まず地震直後についてはまだはぎとり解析というのをやっておりませんので、まずは、この観測記録そのものと、当時の基準地震動との比較を行って大小関係について示しているという。
1:08:45	ものですのでこの地震記録から伝達特性を把握した上ではぎとり解析用の地盤モデルというのを改めて設定した上で、はぎとり解析を行いまして、
1:09:01	そのはぎとりはあと当時の基準地震動との比較というものも行っているという状況です。
1:09:09	ご回答になっておりますでしょうか。規制庁だけです。よくわかりましたのではありませんね設立とどういう関係性があるのかっていうのを確認するとすると、基準地震動 2 肌でやっぱ新潟とかそういったもので比較しないと。
1:09:26	多分、E+Fだと、右に比べると小さめでちやいますよね。
1:09:32	そこはもう観測はって多分、
1:09:34	任意扱いではなくてE+F扱いかなど思っていて、OP-8.6 のところに関して言うかね。
1:09:42	その解釈でいけば、まあ 2 は同士で比較しないと
1:09:47	どういう位置付けにあるのかがあまり明確かというか正確ではないなと思っ
1:09:58	東北電力の者としてどういう位置付けにして説明されてるのかとちょっと過去の確保として聞いたかったということで今アイザワの話で理解できました。以上です。
1:10:15	はい、東北電力アイザワです。今ほど平木さんおっしゃった通りですね、
1:10:21	期中はわとしましては幾ら政府の記録を観測したという位置付けになりますので、きちんとはぎ取りはあ取り解析を行いまして、2 はあとしてのはぎ取りはあ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	と当時の基準地震動との比較というものも行った行っているということでした。以上です。
1:10:45	はい、東北電力のハシモトです先ほどの話に戻ってしまいますけれども
1:10:52	比較するときに
1:10:55	適切なというか同じには同士で比べるとかそういったことを
1:11:00	工夫したいと思いますので、
1:11:02	ちょっと先ほど言わせましたけれどもこの資料にはこの資料として必要な部分の三越とか、そういったものを載せるような形でちょっと検討したいと思います。以上です。
1:11:19	東北電力の橋本です。それで参考資料 24 の説明のほうに入らせていただきます。
1:11:27	5 ページ。
1:11:29	最初密度最大密度試験のにつきまして、
1:11:37	計が 53 ミリを超えるべき部については除外しているので、それについて少しを考察を追加しておりますので
1:11:49	6 ページに現場粒度の粒径化石曲線と、あと最初密度最大密度試験に用いた供試体ということで 53mm 以上をカットした等粒径加つけ曲線を
1:12:06	両方を記載しておりますのでええと比べていただきますと 53mm 以上カットしてますので当然左に移るんですけども、
1:12:17	ばらつきのおつきい範囲にほぼ概ね入っているということと、計上としては大きな違いが生じていないということ。それから 8 本あるんですけども、
1:12:32	この発泡の中でもばらつきあるんですが、それぞれの最小密度最大密度試験結果を 6 ページの下の方に表しております、この最初密度最大密度自体は粒径のばらつきでそれほど大きな
1:12:48	変動が生じていないということで、
1:12:52	この試験に対する影響は大きくないのではないかというふうに考察しております。
1:12:58	それからですね。
1:13:02	11 ページをお願いします。
1:13:05	こちらは参考文献のところなんですけれども、11 ページのところではですね、強度について話しております、東京都のところでは内部摩擦角を
1:13:22	指標というか、指標ですね指標として整理しているんですが。なお書きでもう一つの粘着力について追記しております、対象としているのが掃流材料の応答しつつ、
1:13:39	で、女川の森どうもそうなんですけれども冊数同等。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:43	と同じで締まり具合によって強さが決まっていますということは内部摩擦角が支配的で粘着力の影響は小さいと考えられるというところを少し補足させていただいております。
1:13:56	それから 12 ページにつきまして、
1:14:00	参考資料の文章中で粒度調整の方法について先頭流動装置流動えーとでキリュウと補正こっち還流とともに一体外みたいなんですけれども、これについての粒度調整の方法について、文献から説明を引っ張ってきております。
1:14:18	先頭理由等につきましては、最大粒径以上のやつを、を取り除いたという形であるところ以上のものがカットされて左にシフトしていくような感じですか。走時粒度というのは曲線の形を相似形になるように、
1:14:37	作成したので、少し調整が結構入るといった形になります。
1:14:43	定例できると補正というのは、徐行除去されるべき部分を最大粒径の以下のところで、大きい方の
1:14:54	なぜ試験範囲の許容値の中で置換するといった形で少し
1:15:01	粒度曲線としては形が変わってくるような形になります。
1:15:07	この資料で修正させていただいたのは、以上になります。
1:15:12	すいません。今、
1:15:15	申し上げた 3 点がですね。
1:15:17	資料 5 の
1:15:20	最後の 48 ページ 49 ページの
1:15:25	No.148149、150。
1:15:30	についての記載適正化ということで説明させていただきました。
1:15:34	なお下の 151152 は先ほど説明させていただいた中に含まれている事項でございます。以上です。
1:15:48	スギハラです。規制庁スギハラですね、ちょっと私の方から 24 の参考資料 24 について、
1:15:56	お尋ねしたいことあります。
1:15:58	まず
1:16:00	参考 - 24 - 6 ページのところですね図の 3 のさ粒度調整された。
1:16:07	粒径加積極性があるんですけども。
1:16:11	これちょっと見てですね、
1:16:14	粒径 1mm 付近でトータルになって、
1:16:19	てる部分がありますよね。
1:16:21	比較的、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:23	これ平らになってるっていうことはそこら辺の粒径の部分は内いい少ないっていう結果だと思うんですけど。
1:16:31	これは何かね。
1:16:32	理由があるんですけど頭こうなったっていうふうなことなんですか。
1:16:37	はい。
1:16:38	やはり東北電力の橋本です。
1:16:42	これはたまたまとしか言いようがなくてももとと岩砕を主体にしてやっておりますので、ある程度の粒径まで等、そこから破碎されてきたもので、
1:16:57	まあ多少の
1:17:00	カタギリはあるんですけども全体として見ると、大きな粒径方小さな粒径まで含まれていて締固めやすいというか、
1:17:13	すみません、言葉を喪失しましたけれども均等係数が大きいというような
1:17:21	特性になっております。以上です。これは特段の理由はないよと。たまたまこうなったよということなんですね。
1:17:31	わかりました。
1:17:33	あともう一つですね、
1:17:37	24-12 ページ粒度注水調査の方法についてということでこれは以前記載をです、増したほうがいいじゃないかということで、これ反映していただいたと思うんですけども、
1:17:55	もうプラスアルファをですね、ちょっといかがなもんかと思うんですけど、こういったいくつかの粒度調整の方法あるんですけども、これのうちですね女川では、どれを選ばれたのか。
1:18:11	ということですね、なぜそれを選ばれたがっていうのは積極的な理由でもあればですね、それもあわせて追加されてはどうかと思いますともう一つ壊しちょっと是非とも書いていただきたいんですけども、
1:18:28	これ粒度調整を行うのはですね、他のここに2、13 ページに書いてありますようにフィルダムなんか初めとするっていうふうなことで、
1:18:39	実績沢山あると思うんですけど、こういうところではですね。
1:18:45	その応力度調査の方法として何が一番扉なのかですね、そういうところ辺まで、
1:18:52	わかれば、記載することはいかがでしょうか。
1:19:05	はい、東北電力の橋本です。女川での方法につきましては、
1:19:12	2 ページ。
1:19:13	ただ、各支店のところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:19	粒度調整している場合には先頭でいうとということで記載させていただいております。
1:19:29	おっしゃる通りの戦闘でいうとの方法でやっております。
1:19:36	えーとですね統計的なデータはないと思うんですが一般的には走時理由というのはかなり調整
1:19:46	低区見直すという作業が入りますので、普通は戦闘粒度で行われてるが多いと思います。女川で積極的なリーフまではちょっとな良いですけども、
1:20:03	イトウ調整のしやすさと、あとは戦闘粒度で普通はそんなに問題が生じていないということで、そういったものを使っているという状況でございます。
1:20:17	で、
1:20:18	そうですね世間世間というか普通のところで戦闘粒度使われているというところがちょっと
1:20:28	何かに記載があるかどうかは少しちょっと確認の運営もしなければ追加してみたいと思います表としては、他のですね相似粒度とか歴補正理由というのは、なんかそういう物性値を研究するような報告。
1:20:46	では見られるんですけども、
1:20:51	一般にあんまり
1:20:54	なんていいますかね、さっき言いましたようにちょっと煩雑になるので、この出ていないと思うんですがちょっとそういったデータがあるかどうかちょっとわかりませんのでその辺を確認した上で記載を検討したいと思います。以上です。
1:21:13	規制庁のエザキですね 24-2 ページの
1:21:17	黄砂
1:21:19	3 軸圧縮試験、
1:21:21	お話なんです、そう試験方法ってありますよね。その上の飛ぶ試験方法など、
1:21:27	それから三つ目のポツ、
1:21:30	ここで言ってる。
1:21:32	そう供試体の御密度は、
1:21:35	現場密度試験のうちで気分が影響が少ないと考えられる結果から、
1:21:42	設定していつてるんですけど、これってどこに書いてあるんですか。
1:21:47	ということ。
1:21:48	じゃあ、いわゆるバグの根拠を持ってきてこんなこと言ってるのかわからないっていう

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:55	いきなり広告出だしからこんな話を書いてあるとさっぱりだからそのあとさっぱり頭に入ってこないと実際のリースであって、やっぱりこういうところがちょっと書き足りてなかったり、拘束されてなかったりしてるんで、どういうロジックで話を持っていくのかさっぱり中、
1:22:13	この分析以降何もわからなくなってしまうような状況です。
1:22:17	その他同じようなところなんだけどできる部分も興味あるに対する考えっていうことがあって二つ目のポツで、
1:22:25	君が入ることにより、
1:22:27	現場強度は室内試験と同等以上になると判断続く精査これ何を言ってんだっていう話も全然わかんなくて、
1:22:36	これは何かこういった言葉ですねちょっと停電時説明いただけないと、何をもって判断しているのか、判断基準となるエビデンスがないとなんか相場感的な判断になってしまって聞こえていてよくわからないですよこれね。
1:22:54	3 ページのほうの下のほうのできる部分
1:22:58	の影響を与えると考えているところで、
1:23:01	φAh用モディファイE100 ミリの試験結果ばらつき大きくっていう話があるんですが、多分試験があるんだと思うんですけど、その関係性をひもつきだとか、何もないから。
1:23:17	何でこういう話が出てきたのかっていうのがわからなくなっちゃってて、全体でいうと何かわからない。ちょっとわかりにくいなと思ってて、相場感的には、
1:23:26	付近で言いたいことがうまくわからないこともないんだけど、全体的な長さ、一番最初からを使って引っかけちゃってるんで、なかなか全体がスキッパー建物でってこないというのは、実用なんでこういったところをちょっと
1:23:41	そう。どうやって
1:23:44	理解ができるかどうかというのを考えてですね、ちょっと改良記載を充実していただきたいんですがいかがでしょうか。
1:23:55	はい、東北電力のハシモトで政党ちょっとすいません思想。
1:24:01	もうちょっと書き切れてないんですが突粟ばかり書いてしまってあまりイビデン数とか
1:24:08	別途記載させないような状況になってしまっていて申し訳ございません。
1:24:14	それだけで論じられるわけではないんですが論拠通している。今回
1:24:20	根拠としてるものについてはできるだけ書くように、ちょっと再考させていただきたいと思います。規制庁いただきですね今言った三つってこれ読んだ文章の中で、なぜっていうまずだろうっていう疑問が湧いてしまうんですよと、そこがわからないと、そのあとの話が

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:38	入ってこないんで、なぜこんなことがいえるのかということがわかるように書いていただきたい。
1:24:45	あともう1個あって、3ページ目の同じ方で気分の影響に対する考え方をしたというか補方ですね。一方っていうところが
1:24:54	このばらつき小さくなっておりという次のセンテンスでできな入り方のばらつきによる影響が
1:25:01	φ300に抑えられてるっていうことで幾つもちよっとわかりにくい。
1:25:06	φ100でもφ300でも利益は入っていて、
1:25:10	ちよっと入り方が、
1:25:12	どういう入り方だったらダメなので、どういう入り方だったら、せん断試験、
1:25:18	液状化試験、いや、多分繰り返し3軸試験もそうなのかもしれないんですけど、影響を及ぼすの通り、どういう悪影響があるんですかというのが模式的に書いとかですね何かしないと。
1:25:31	ちよっと理屈がよくわからないんだと。
1:25:33	と思います。多分。
1:25:35	φ100等考えたときに、早くて系が小さいですから、
1:25:41	そう骨材を半割やとか、場合によっては3分の1バリアとか分の1倍とか中途半端に介在してしまうと。
1:25:51	多分そこで多分1棟軸方向で変形時給圧縮力で変形させてしまうと相当部分がピット剥落してしまったりするとそうすると谷強度が落ちてしまうとかそんな想像はしますけども、
1:26:05	何を根拠にして根拠にしてって何を気にして
1:26:13	懸念事項としてこういうことを言っているのかがもうちよっとですね、もし文章で表現できないような状況があるのであれば、例えば、
1:26:21	図解説とか入れてる方ですねちよっとわかるようにしていただけないかなと思ってますがいかがでしょうか。
1:26:29	はい、東北電力のハシモトですを趣旨としては今おっしゃっていただいたようにはいけるべきの系統供試体の径との関係で、
1:26:41	強くなったり、歴がちよっと
1:26:44	率が大きくなってしまおうとその影響を大きく受けてしまうということを言いたかったんですが、ちよっとすみませんそれ。
1:26:50	書ききれませんでしたので
1:26:53	検討させていただきたいと思います。
1:26:56	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:27:02	東北電力のハシモト図液状化強度試験につきましては、選定シオンというかそういった効果もちよっと期待するところがありまして、なるべく満たさない試験でとってるので
1:27:19	こういった歴の入り方というか大きなできが入っている場合もあるということでございます。以上です。
1:27:51	求職者の姿シノが1点だけ、参考24-5ページの
1:27:57	これは相対密度の関する検討できるの影響に対する考えをちよっと日本語的なのと、そもそもちよっと言ってる意味っていうのとの観点でお聞きしますけども、
1:28:08	黄色い字で書いてあるところについてですね。
1:28:12	これは相対密度の算出相対密度はそもそもAと森泥沈下量に使用しますので相対密度は歴これは道とか確か求めるんですか、確かそうですね。
1:28:27	学識を用いたり、
1:28:29	じゃあ、黄色ハッチングで書いているところも要はべき部分は除外して、図3-3に示すように、
1:28:38	やや左側に移動しているものの、
1:28:42	移動してますね、形状に大きな違いはなく、
1:28:47	ふうん形状に違いは何か。
1:28:50	ないんですかね、今、
1:28:52	そういうので影響は大きくない。
1:28:56	何が大きく影響を大きくないんだろう相対密度かなと思うんですが、最初密度この最大密度それとも森の沈下量なのかなっていうところがわからず合いは影響が大きいという判断した根拠は、ちよっとコメントこれでわかりませんでしたのでもうちよっと
1:29:14	いただきたいと名後で結論に影響が大きいやつに対して言ってるかっちゅうのもちよっといまいちわからず、そこら辺ちよっと説明。
1:29:24	ちよっと今いただけるということに記載充実お願いできますか。
1:29:29	はい、東北電力のハシモトです
1:29:32	そうですね今読み返してみても最終的に求める相対密度に対する影響のところと最小密度最大密度試験に対する影響のところ少し混在しているというか、区別がつかないような形になっていますので、
1:29:50	あと、書ききれない部分の追加も含めてちよっと記載を検討させていただきたいと思います。以上です。
1:29:59	はい、わかりました。私ども以上です。済みですもん。
1:30:03	規制庁エザキです。ちよっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:07	さっき 21-3 ページ。
1:30:12	技術的な話は変ですけど。
1:30:15	一つは、
1:30:18	表 2-1 応力ひずみ関係で、特にシミュレーションのほうの
1:30:24	多分、図の変更。
1:30:27	ゼロックスを支給してるけど、あまりないんだと思うんだけど、これ来るなんて わかんないっていう話で、
1:30:33	上もそうだけど、もうちょっと拡大したやつとか入らないですかね。
1:30:41	黒過ぎて、何か、そう。
1:30:44	例えば表現として、図の 3-2-みたいなものをつけるとかしないとなんかそ う。
1:30:51	ずっとクロスチェックしてますんでしか言えないいえないので、この後、
1:30:58	はい東北電力の橋本です。応力ひずみ関係のやつがそうですね黒くなってい ますのでちょっとどういった
1:31:09	多分有効に語ろうところで、そこで拡大していく。なんかを見て右の 4 ページの ようにして示すしかないのか。
1:31:18	という、ある意味、ここで言いたいのは、どちらかという下のほうで言った それと剛性があるという話を
1:31:27	しようとしてるのかなとは思んですけど、この辺も資格ができないんであれ ば、逆に言うと、いう航路経路のところではほぼ 0。
1:31:37	というところではいけないっていう説明するのか。
1:31:40	何らしかちょっとそれがでもいい。
1:31:43	それにしてもちょっと見あまり見えないですよ。
1:31:47	はい、大きくするとか、図をちょっと
1:31:51	はい、東京電力の橋本です。
1:31:54	想定ですね
1:31:57	どくひずみ関係の試験のやつをそのまま持ってくるとなかなか難しいの
1:32:05	そうですね
1:32:08	ちょっと検討いたします
1:32:18	ちょっとどこまで可能かも含めて検討させていただければと思います有効で矩 形度とか、
1:32:25	過剰間隙水圧時刻歴のやつは目的にかなったやつのある程度のオッケーや すいんですけども毒ひずみ関係は、
1:32:37	歪が大きくなった方を書かないとあまり意味がないような気もいたしますの保 証から

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:47	ちょっと今アイデアな拡大でいけるかどうかちょっと
1:32:52	今わからないんですけども少し検討させていただければと思います以上です。
1:33:00	多分こうで完全に液状化しないっていう話があって、そののを説明するという抗力はゼロにならないことが一つの指標ですよ
1:33:12	それと、構成自身がある程度瞬時に回復するっていう話だと思うんですけど、普遍がちょっとわかるように、
1:33:19	説明いただけると良いと思うんですけど。
1:33:24	はい、東北電力のハシモト図説明する目的ももう一度よく考えた上で、適切な通をちょっと選ん選ぶというかの乗せ方を考えたいと思います。以上です。
1:34:42	はい、じゃあ、
1:34:43	次の説明をお願いします。特にございでございます。地下水引き続いての地下水水位低下設備耐震のヒアリングをお願いします。
1:34:54	資料全部 4 種類ございます。
1:34:56	その点もございませうでしょうか。
1:34:58	それと今回そちらのコメント回答させていただきたいと思っておりますあとは巡回です 4 故障で井戸のうち 1 と 2 をですね、代表として耐震強度を示してございましたけれども、
1:35:10	解析手法の選択の見直しを踏まえましてすべてのイイダにおいて解析手法選定のフロー⑤、
1:35:16	ですね、全国有効応力解析情報による設計になりますけれどもそこに位置付けて個別に設計を示そうということを前回、
1:35:23	お話をさせていただいております今回設計下がりますので、計算結果をお示ししたいと思っておりますもんですね、時間もあれなのでと船内からまず資料を一任を使って計算耐震計算の方針に関して、
1:35:40	記載充実コメントいただいておりますので、簡単に説明させていただきます。お願いします。
1:35:49	イトウグループ高橋でございます。私の方から言うと資料 1 に用いまして、耐震計算の方針についてコメントいただいた件について御回答差し上げます。
1:36:02	回答整理表もですね 2 ページ目をご覧ください。
1:36:11	こちらの言えないんですけどもコメント二ついただいております。ナンバー 1 と 2 が該当になります。一つは地下水低下設備に要求される機能を明記されているこのペーパーのHシノコメントいただいておりますそちら明記しました二つ目は

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:28	地下水位低下設備のこのようにについて先行他社と比較して記載が不足している部分がございますのでそちらへと追記しました。
1:36:38	特段中身について簡単に御説明差し上げますと、資料 2-A と地下水低下設備は耐震計算の方針をご覧くださいまして、
1:36:51	そうですね。
1:36:54	刑事罰と。
1:37:02	えっとですね。
1:37:05	資料 12 ページ目をご覧ください。
1:37:10	まずコメント①、ここでナンバー1 のほうなんですけれども昨日の明確化せよというような趣旨のコメントに対しまして当行表の 3-1 にお示ししてまず通り、都市えとドレーン接続の整合性がに関してええと。
1:37:26	機能であったりとか、あとなぜそのような許容限界を設定したかっていうのも黄色のハッチング部で飲んでご回答してございます。もう一つのコメントでございます。構造概要の所接詳細についてなんですけれども、こちら、回答の内容自体は 7 ページから
1:37:47	ただ、八、九十ページにございまして黄色のハッチング箇所なんですけれども、ちょっと先行他社もございまして、記載充実図ってございます。
1:37:55	当初経済の更新については以上になります。
1:37:58	きちっと扶助しません今の一番最後につけた構造の概要について寸法や支持構造がわかるようにって、多分ウエキの発言があったかと思っておりますので、これ、基準耐震のほうできちっと説明をいただいてもよろしいですか。
1:38:17	わかりませんとそちらまた記念のウエキさんから御質問でしたので時例のほうで改めて御説明差し上げたいと思っております。
1:38:28	じゃあ、続けてください。
1:38:32	尾崎でございます。通常の耐震評価手法について、ちょっと簡単にまとめてございますので紹介させていただきます。資料 4 番ですね、お聞きいただければと思っております。
1:38:44	一番最後の資料でございます。どう鉱物の耐震評価一覧ということで、今回の地下水位低下設備を追加してございますとめくっていただく 3-1 ページでございましてこれも前回は示しさせていただいた内容を整理したものになります。この格好で先行の実績になった解析書を
1:39:03	ませんでしごめん整理しているというものでございます。詳細割愛して紹介だけとさせていただければと思っております。これ以上です。
1:39:22	続いて用水の耐震計算に 1 回ちょっと区切らせていただきたいと思いますと思うんですけどもそこまで十分程度で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:28	要するに用水道のほうで耐震計算書説明したいと思いますが、補足説明資料 3 のですね。
1:39:36	補足説明資料がございますがその 3-2 ページをお開きいただければと思います。
1:39:41	よろしいでしょうか。ここに図 2-1 ということで揚水井戸の設置位置がございますが、ここにイトウ 4 ヶ所ございますがこれはもう移動ですね、解析手法⑤につままして今回計算を実施してございます。
1:39:54	続いてですね、ページ 3-3 でございます。前回コメントでこんな 6 人なりますけれども、このヒューム管がですねこの移動に接続されますけれども、
1:40:06	耐震評価に及ぼす影響について説明ということでいただいておりますこれに対しまして、次のページですね、ごめんなさい。まず 3-3 ページですね、下の黄色部分ですけれども、
1:40:20	公共構造照査手引きに基づきまして補強も設置することで構造上の弱のように配慮したということに記載してございます。具体的には 30 ページ。
1:40:32	お開きください。
1:40:34	ここに開口シャフトの詳細図でございまして、このようにですね開口 A 棟、
1:40:40	シャフトにですね、接続管が接続されますけれども総務部ん抜けた部分を周りに構造材を補った上で、同等の断面積とダメージモーメントを確保するというものでございます。
1:40:55	続きまして、
1:40:57	はい、3 の 9 ページすみません戻っていただきましてで、これもですね接合部層サイズになります。
1:41:05	前回モルタル充填をしますといったこととお話してはございますけれどもその詳細を顔を示すようにということでもいただいておりますのでここですね。
1:41:16	もうん。
1:41:18	腐食性をですね耐腐食性を高めるためにモルタル充填を周りに実施するというのでこちらに図示してございます鉄筋下部層等をですね、確保するようにモルタル充填することをここで示してございます。
1:41:32	それではさんも続きまして、すみません、16 ページ。
1:41:37	ていただいて、ここが断面選定になります。
1:41:42	はい。四つの色の選んでございますが、
1:41:50	はい。
1:41:51	この四つですね団それぞれ断面を 17 ページ 8 ページ目に示してございます。特にですね今回シャフトがですね、主後戻り中に設置されますので、その変形の影響を受ける構造であることを踏まえまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:06	ホリミの広がりのある断面aとして、123、17 ページにNo.1No.2、18 ページ 38 ページにNo.3 を示してございますけども、それぞれNS断面を選んでございます。No.4 は、EW断面の方が戻って終わりはございますので訴訟
1:42:26	案でございます。こちらに関しまして、
1:42:32	3、
1:42:34	シリーズ一番最後のほうですね。
1:42:37	参考
1:42:39	1-1 というものがございます。
1:42:42	一番最後のほうでございます。
1:42:46	別個よろしいでしょうか。ええと。
1:42:50	3、参考 1-1 ページですね。
1:42:59	調査方法ですね、筆談申し訳ございませんけど、ここですね、対象の代表性についても詳細のところを示してございますんで、先ほど切った断面の周辺において、
1:43:11	もう少し厳しいとこないかといったところを見つけにいつているものになりますので、参考 1-4 ページをお開きいただきたいんですけども。
1:43:19	ここに
1:43:21	岩盤の上限面コンターと地下水分布を示してまして、ちょうど色ごとに今切ってる断面構造として断面を示した上で、泊の建家除いたものにどの範囲を四角で囲っておりましてこの中で厳しいところはないかというものを見つけにいつたものでございます。
1:43:38	この部分ですね、岩盤条文コンターでは緯度中心を通る駄目における岩盤上面と概ね
1:43:46	1 点なんですね、コンタが直交してます。ですのでその条文の移動に差異はなくてですねません作用なくました御地下水コンターでも同様に、ちょっと画面に対して営推昇降してございますので、もうどんどん面でも同様ということで今中心断面を切ってございますけれども、有意な差がないことを確認しておりますので、コンタ面で問題ないということを確認してございます。
1:44:08	はい、それではですね 3kNいただいて 39 ページをお願いします。
1:44:20	COCOで解析手法ということで、選定フロー見直さ見直した後の選定フローになりますのでここで⑤につけたということに記載して、
1:44:30	ございます。
1:44:32	以下ですね、構造物の手法等のモデル化の説明ですね、基本的に前回同様でございますけどもう一度コメントが記載充実下がってございますけども、時間の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	都合もありますが、そこは割愛させていただきます。それで、解析結果について説明したいと思います。
1:44:47	3号、137ページ。
1:44:50	お願いします。
1:44:54	次、
1:44:57	このページからですね各井戸ごと全部解析有効応力解析結果について示してございます。3方策37ページの上にも全力下には有効応力解析の結果、総条文ごとに厳しい断面、
1:45:13	厳しい再現
1:45:15	一番厳しい総括について、
1:45:17	示してございますので、上と下の表を見比べていただきたいと思いますんですけども、埋もれ照査値的には1度のものでございますけれども、やはり有効応力のほうがやや大きめになってるかなと思います。これはですねシャフトがモードに設置しておりまして液状化により地盤変位が
1:45:36	増加する影響を直接受けるための有効応力解析による照査値のほうがやや厳しいの傾向にあるというふうに考察してございますので、また、接合部ですね、これもややそれという航路は大きい管理しますけども、この辺の影響ですね排水排水シャフトを介して間接的におけますので、
1:45:55	これもやはり有効応力のほうが厳しい傾向にございます。一方、取水ピットにつきましては岩盤の深い位置に設置されますので、
1:46:03	そのされましてTableの合格付近が一番、一番厳しくてそこでの的に決まるんですけども、液状化の影響を受けることなくですね、操作用小さいというふうな結果になってございますので、こういったものですね、1234用意してございましてそれぞれ同様な
1:46:21	傾向となつてございまして最大照査値としては0.6程度となつておりまして、
1:46:27	十分安全性を利用していることを確認いたしました。
1:46:32	ちょっとですね、
1:46:35	はい。最後にえーとですね。
1:46:38	参考2-1ですねまたすみません、一番3コース3すみません
1:46:47	一番下のほうですね、その参考資料2というものを、お開きいただければと思いますが、ここにですね。
1:46:55	要するにとも解禁の組み立て、
1:46:59	ですね、のステップを示してございます。前回皆様からご意見いただいたものになります。当ものにはですね廃棄人数になりまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:12	底盤で言えばですねこれ加え決まったりですね、上からですね、RCPI頂も延びてくると、これは本当に組み立てられるのかというところを示してございます。2-3をご覧いただきたいと思います。簡単に言いますと、外の鉄筋から徐々に中に向かって組み立てるようなことを考えたことで十分施工可能だと思っております。
1:47:31	3の3ページにステップすることで、外のこのリング金を組み立てます。スツ下ですね、底板も
1:47:38	XY金をステップ二、三で組み立てて構想からどんどん増えていくの形になります。2-4ページをお願いします。ここで当課的にですね、挿入していきますと、これを少し外の鉄筋がくみ上げることになります。
1:47:56	Step5ではその次のテーマの所状面ですね固定金利XYを組み立てます。
1:48:02	少しステップなので、せん断補強組み立ててですねとしてそんな中のリング金を組み立ててSTEP給電その他定期施設中で側壁のせん断補強を組み立てるということで、
1:48:17	十分施工可能ということをお示してございます。
1:48:23	はい。
1:48:25	この件については後ですみません戦略アフターですね、同月から2人について説明いたします。お願いします。
1:48:33	東北電力の永井です。先ほど開いていただきました参考資料の1のベースの1の前のページにですね別紙1を挟んでおりますので、別紙1を開きお開きください。
1:48:53	ちょっと別紙1の3ページになります。
1:48:59	こちらの水道の負担につきましては基準地震動Ss1に対しまして仕様が構造部材がですね構造強度を有することを確認いたします。
1:49:11	こちらの揚水量の大きい。
1:49:13	二つに関しましては特徴的なポイントとしましてはですね常設ポンプの交換、また観点とユニットの昇降に影響を与えないようにですね、蓋自体は取り外しは可能な構造とすることが特徴となっております。
1:49:31	そのためですね水道本体地方にですね負担市立受け入れたを設置しております、受渡に関しましては、要するに本体にて溶接にてですね、固定する構造としてございます。3ページ、
1:49:46	1-3にですね表の2-1の購入する構造の概略図をつけてございます。
1:49:53	基本的に評価方法につきましては浸水防止蓋のですね評価手法等をほぼ同様の評価になっておりますので本日は割愛させていただきたいと思っております。またですね、評価につきましても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:50:08	大きなNo.1 から 4 のですね
1:50:13	大飯地震の解析結果をもとにした評価を現在実施中でございますので、蓋の評価につきましては次回以降を御説明させていただければと思います。2 人に関しては以上です。
1:50:27	ありがとうございました。というのは、以上で移動本体とふたの説明は。はい、掘でございます。以上です。
1:50:36	はい、説明があると思います質疑のほう入りたいと思います。
1:50:42	規制庁の三浦です。
1:50:44	ちょっとほかのところも一通りちょっと目を通したみたいなので、ちょっと気が付いたところだけ、今日お話をさせていただきます。
1:50:53	まず資料 3-1-58 ページ。
1:51:08	68 ページの表 3-9
1:51:13	これであれですね。
1:51:16	間接中心半径、これ表の中に二つ出てきてるけど、右側のこれ単位体積重量ですね。合議だと思っんで修正してください。
1:51:26	1-58 ページの表の 3-9 です。
1:51:36	3 無給で緩和中心半径二つ出てますけど。
1:51:40	右側の加圧中心半径が単位体積重量の間違いだと思いますが、大変失礼いたしました。はい、すいません、適正化させていただきます。
1:51:51	修正をお願いしますと。
1:51:55	もう少し気になったんですけど、3 の資料でも、
1:52:03	(3)、(3) 項算定やつ。
1:52:09	ですけど。
1:52:13	施設。
1:52:14	上水道
1:52:16	もう
1:52:17	チェック
1:52:18	の部分です。
1:52:31	捕まえました。
1:52:33	以上です。
1:52:36	三坑そんで。
1:52:39	図 4 で既設揚水どう読んで、
1:52:45	こういう交換を立ててシャフト部から土が申してくるのを、
1:52:51	押さえますと、
1:52:54	というようなことを書いてあるんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:57	これはピットそのものが、
1:53:00	基準地震動Ssで持ってないと。
1:53:06	耐震性を有していないと。
1:53:09	結局ここを管路として見るができなくなってしまうと思うんですけど、そのチェックはどっかされてるんですか。
1:53:19	東北電力、高橋でございますと、今の江藤委員長が言ったコメントに関してなんですけれども、と同じく補足説明資料の 1.2 を
1:53:31	いうふうに
1:53:33	ページお開きいただいてよろしいでしょうか。
1:53:38	一つ質問にも 1 接続末の設置位置というだけになります。
1:53:48	こちらへと先ほどの資料データ用水路④とさせていただくのがちょっと、すみませんが資料開いております。
1:53:57	すみません規制庁見れる結局あれですか、接続ますそしてチェックされてるっていうことでしょうか。
1:54:05	ずっとベンノクサカが実はおっしゃる通りです接続も一つで集水ピット類について耐震性を確保していることを確認してton中にこの円筒形の部分を置くというような絵と御理解で
1:54:20	規制庁の三浦です。それだったらこれはですねその接続FAX等の紐付けをしておいてもらいます。これ。
1:54:32	ちょっと遠くなるところでございます。紐づけというのそのテーマ④について単独でこれに円筒形の部分に設置しますというふうに書いてしまったんですけれども、それと全然として接続もその方で体制を確保しているっていうのを追記するようなイメージでよろしかったでしょうか。はい、そういうことです。よろしくお願ひし、
1:54:52	はい、理解いたしましてありがとうございます。
1:54:56	はい。あと続けて資料 3 の
1:55:01	3-361 ページ。
1:55:13	これは 361 ページもそうで 360 ページもそうなんですけど。
1:55:19	ここで上の表 4 の 74 の(1)とかに鉄筋しようってみんな出ってますよね。
1:55:29	この鉄筋しようっていうのが、
1:55:32	例えば、360 ページのやつだと 51 アットマーク 120 本／週って書いてあるんですよね。
1:55:44	SD産休まるでD51 アットマークー120 本／週と書いてありますよね。
1:55:52	こういう書き方と僕はするんですか。
1:55:55	普通は 051 か出では 120 本でパー週って書くと思うんですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:01	これはちょっと理解が午前
1:56:04	ほとんどの資料がそうなってるんですけど。
1:56:07	これは、
1:56:10	ちょっとそれで正しいのですかって言う質問です。
1:56:16	1点です。
1:56:22	G5先でございます。確かにおっしゃる通りでございます。富津のことを次の数字を示しますのでは120ピッチっていうのは、
1:56:31	Takehi読み方にできてしまいますので、少し適正化を図らせていただきたいとあとマイクロ使わない方でちょっとはい修正室から適正化したいと思えますが、規制庁の三浦です。これ、
1:56:46	多分かけるっていうことになってる部分もあると思うんですが、この書類の中で見てたら、例えばほとんどがこの後マークになっているので、これはやっぱりすべてもう一度見直して適正化を図ってください。ウエキです。了解いたしました。ございます。
1:57:02	それとですね、
1:57:08	先ほど、こっからご説明いただいたところなんですか。
1:57:13	他の話ですね用水路の蓋、
1:57:18	それから、別紙の1-8とか9とか、
1:57:27	最後のほうですね資料3の最後のほうの別紙の
1:57:32	1-81-9で、これ蓋の
1:57:36	図面が出てるんですが、
1:57:39	これちょっと教えていただきたいんですが用水道の二つっていうのは、よくやっていくつかに細かく分割されていて、
1:57:49	別途リブプレートを入れて2万円の交番絡まってるんですか。
1:57:55	ちょっと左側のほうの例えば別紙1-8の絵を見ると、左側のBB断面だと。
1:58:05	これが一方に、
1:58:08	何だこれプレートが上下に入っていてその真ん中にリブが入ってるんですか、ちょっと詳細を教えてくださいませんか。
1:58:18	東北電力の永井です。ちょっと図面がわかりにくい記載となっておりますけれども皆さんがご理解の通りでございますしてリブが入って条例にですねプレートがいてナガイリブが入っている構造になってございます。
1:58:35	規制庁の三浦です。そうするとですね、例えば、
1:58:40	定例断面で、
1:58:43	用水道の二つ等受け払いのところによる等がうたわれてますよね。
1:58:50	これはどういった成功するんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:55	冒頭ですね東北電力の中で最後 4 水道スター自体もボルトのところによると、 そういう取り付けるところにですね
1:59:06	今あなたが言っております上からボルトを固定するような
1:59:12	構造になってございます。受けたとし、揚水井戸のふた自体をですね、上から 道東差し込んで固定するというような構造になっております。ちょっとあの図が ですねあの日ちょっとわかりにくい。次になってしまって訴えましわけないので ある。
1:59:29	こちらのほうがわかりやすいように、適正と諮らせていただきたいと思います。 以上です。はい、規制庁のミウラですを今ちょっと言ったように、このだけの図 面だとどういう形をしているかははっきりわからないので、
1:59:41	例えば用水道の蓋の 1 枚のピースの部分取り出してどんな構造になってるよ とか、今言ったように 2 枚分ただと思うんで、このボルトがどうやって作るか ってのは全くわからなかったんすよタラタラ流れてつくようになってるっての今 理解できたんですが、
1:59:58	ちょっと情報が不足してるような形します。詳細をふやしていただけますでしょ うか。
2:00:04	はい。
2:00:05	この長いでしょうといたしました。入って開口前させていただきます。はい、 お願いします。それとですね、このお用水道の負担っていうのは、
2:00:17	機能として、竜巻防護飛来物防護の意味もあります。
2:00:26	東北電力の永井でございます機能としましては、竜巻防護の機能もございま す。
2:00:33	います。そちらの評価もしまして部材厚等を設計してございます。
2:00:41	以上です。規制庁の三浦です。竜巻の資料がコメント金曜日なんでちょっと目 を通したんですが、これのチェックをされた結果は載ってなかったんですが、今 後そこ載ってくるっていう理解でよろしいですか。
2:00:59	はい。
2:01:06	東北電力の永井ですを竜巻防護の関係の資料に関しましてはこちらの成立し た上で、再度示したいと思っております。以上です。はい、規制庁の三浦で す。要するにこれもと竜巻防護対象として抽出されて計算書も
2:01:25	竜巻防護のほうへ出てくるっていうことで理解しました。それよろしいですね。
2:01:43	少々お待ちください。
2:01:49	東北電力尾崎です
2:01:51	それで進めさせていただいて、示したいと思っております。
2:01:58	そういう

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:03	進めておりました。はい、すいません、お願いします。あと規制庁の三浦です。
2:02:08	ちょっとこれ参考資料の3も終わりのほうの資料で施工プロセス、
2:02:14	その後資料で2から
2:02:17	先ほどちょっとご説明いただいたんですね。
2:02:21	外側から攻めてくるよっていうことで
2:02:25	できるっていう、
2:02:28	になってるんですか。
2:02:30	これ、実際問題として、
2:02:33	ステップ4の
2:02:36	51の200万の
2:02:38	側壁の鉛直鉄筋ってこれ取り組みでいくんですか。上から今度は落とすんですかこれ。
2:02:48	国連の構造器です。これ軽微と床の上から来るんで、それがおとしながらです。ね、ツリーながら真下で作業員がいて、
2:02:58	組み立てていくというふうなプロセスを取ると増えてくんで落とすってことはしないで、平均1ポンド層として設定してくんでくる。
2:03:09	はい。っ放しに先が持てるレベルまで本数限定して、下で組んでいくと主蒸気組んでいくということを計画しております。
2:03:22	規制庁のミウラですこれは新しいのにちょっと気にしたのはどういうことかっていうと、
2:03:27	これ、例えばSTEP3で、
2:03:33	底面の鉄筋ありますよね。これ添えてくるんですね。
2:03:42	ステップ4で、やっぱり51なんですけど、これは200まで落ちてくるんですね。
2:03:48	そうすると、X方向で切ったやつが編集方向に入ってきたときっていうのは、200万の形になってないんですよ、04番で鉛直方向の鉛直鉄筋が、
2:04:01	これはもう円周方向に200の段階でどうしてくるんですね。
2:04:05	これ全部干渉しちゃってるんじゃないかなと思うんですよ。だから、むしろ鉛直定期んちゅうのはよくステップ法の鉛直鉄筋で底面適用されて入れていくしかないのかなと思って、その分どうやられたのかなっていうのがちょっと気になったんで時こういうステップ図書いてくださいとお願いしたんですね。
2:04:28	そうですねはい。特にございですが、それぞれ下からくみ上げることで、
2:04:35	下がるようにしていくということの実績、こういった時、
2:04:42	出すものではないですね、ありませんが、実績もあるということは確認しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:46	これだけ説明した上でここではいいんですけど。
2:04:50	実際にこれで51でrθ方向というX方向取り合わせるともっと本当に間空いてるところで落としていくしか方法ないですよこれ。だから実際にはステップ法と言ってるで五十一、二百末端のピッチバラバラになると思いますが、これきつとあるんじゃないかなと思うんですけど。
2:05:13	なるべくピッチャー載せていますが、部材としては面的に荷重を受けるようなものと考えれば、ある程度ある範囲に敵の本数が入るといった管理もできると考えてございますので、極力制度化組み立てるんですけども、しっかり
2:05:30	この鉄筋量を確保するという意味で施行し、
2:05:34	実施していきたいと考えております。以上です。これはもうあれですよ施工終わってるんですよ。
2:05:41	遠ざけ3施行日がこれからこれからですか。はい。ぜひちょっとこのR製ターンで51度、今言った絡みのところで接合部分とかですね、これは十分な管理をしてください。
2:05:56	ここでご存知です。了解いたしました。
2:05:59	はい。私一応
2:06:01	一通り資料を目指していただいたんですが私の気が付いたところは以上です。
2:06:11	規制庁フジワラです。私のほうから、ちょっと先ほどあったの位置付けの煩雑きちっと整理いただきたいと思ってましてこれ従前から地下水低下設備って、そもそも添付書類とかのそれに基づく一つ補足とかの位置付けが中にも1、
2:06:29	初めて今回女川でやるやつだからあんまり何か整理がなされてるかなかったんですよ。ですから、多分そうそう地下水位低下設備そのものは耐震クラスであると
2:06:41	確かこれもSsであると。
2:06:44	添付書類として一応耐震計算書に載っているということで、地下水位低下設備を構成するものといったらええとまあピット等ドレンとか、
2:06:56	ポンプ電源盤とかって多分振って構成する設備になってないんですかねもしかしたらだしたら、ああいう構成する設備なんですか。それを守るもの、或いはお姫様守るものの
2:07:12	防護の質という位置付けたらそれをどういうふうな添付書類に落とすべきなのか、或いは、
2:07:19	添付書類で何か或いはSs機能保持と示したその詳細は当然補足でちゃんと説明するとかですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:26	今申し上げたような計算設備土野が幾らかあのやり方はあるかと思うんですけどそこはちゃんと整理は、
2:07:32	おっしゃった上でミウラを申し上げたようにちゃんとその計算の機会ですから、竜巻に対する結果とかテントのみないといかんだろうで竜巻だけじゃないですよね溢水とか火山とか、ほかにも何か自然現象が沢山あると思うんで。
2:07:50	どうですかね用溢水とか要は津波の時のなんか要は内部溢水の事象で何かこう、この辺で水がこうなってそれに対して、水圧がこの負担かかるんじゃないかとか、
2:08:04	或いは水がこの中に入っていないようにとか、
2:08:07	もし水が入ってるポンプが壊れないようにとかいうところっていうのは無理で戻し尽きることがなくて、
2:08:13	そもそも見なくていいのかとかいうのもですね。
2:08:16	今ほど火山の火山灰まあそんな中に包絡されると思うんですけど。
2:08:21	そういうのをちょっと位置づける社長今後整理いただくということでよろしいですか。
2:08:27	特にこの先でございます。はい、了解いたしました。先ほどの皆様のコメントも踏まえてという位置付けを整理している荷重等もですね、ちょっと今回、
2:08:42	については、今回その荷重の一部として見てますけども、溢水とか内部溢水とかその辺りですね、ちょっと今回資料では反映できておりませんのでそういう位置付けを確認した上で、
2:08:52	次回へと。
2:08:55	警察の位置付けも含めて御説明したいと思います。以上です。はい、すいません、ちょっと答弁でもダメでございますけども、今ほどの位置付けをしてですが現在ですね、あのプラントでもヒアリングの中で使わせていただけるの設計方針と
2:09:13	いう中でそれでもその全体構成としてもを目的と機能を迷う形成のそういったところも整理しております、その中にその今回挙げた耐震計算書類並びにその負担についてもですね、外部ハザードに対してはを考慮すると。
2:09:32	そういった位置付けで記載をしてございますこちらの添付の中でそういった位置付けを与えてございます。それを受けての今回の説明ということでございます。
2:09:45	以上でございます。
2:09:47	はい。
2:09:49	わかりまして、津波この二つって今さっき今外部事象対象ですけど、波及的影響という観点では別に

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:57	上位と下位クラス地域水道指針みたいな感じになるからそれを考えてそういうことですかね。
2:10:04	なんでございましてございませぬが、一応今回添付とかいろいろやっばりここクラス1相当ということで、その辺の信頼性を置いておりますがソフトウエアやはり
2:10:15	波及的影響を与えるような構造が直接責任ですね、水を吸い上げるものじゃないので、Cクラス位置付けてるんですけれどもこの耐震性をしか確保しますんで、波及的影響は及ばないというふうに整理してございませぬ。以上です。
2:10:31	時そちらで御さんのお尋ねに規制上の申請した位置付けを聞いただけであつて、ちゃんと
2:10:39	規制要求上で上位クラスと下位クラスはこうであつて、それに類しないですよというのはいちまいこの資料からわかる図も当初から全全体像がちょっとわからないので、説明してらつて話をちょっと申し上げたんですけど、今後どういふような電路を設置しているのかですんで電路はどこを張っていくのか。
2:10:49	洞道記載すみませぬ、理解しますといたしました。
2:10:52	はい。
2:10:59	尾崎です。了解いたしましたその等にも参考にさせていただきますして、ちょっと整理をしたいと思ひます。以上です。
2:11:07	ちょっと確認したいのはそもそも地下水位低下設備っていうのは何か要はポンプに電源或いは信号水系からの信号は制御信号とか、そういうのを送るといふ必要があつて、Dつてことはその電路っていうのはフタを
2:11:26	貫通するのか或いはもっと別の経路でもって用電路があるのかっていうのがちょっといまいちこの資料からわかる図も当初から全全体像がちょっとわからないので、説明してらつて話をちょっと申し上げたんですけど、今後どういふような電路を設置しているのかですんで電路はどこを張っていくのか。
2:11:47	例えばですな、別紙1-2とかを見たときに、
2:11:51	No.3とかナンバー4の揚水井戸に電源を供給する電源の経路は、多分、2号から持ってくるんですよその経路は以前なんかワタナベさんは確か防潮ておこうとあわせてくるとか言つてたんですけど。
2:12:06	今口頭でそういったものじゃそれって何か資料で何か示さなくてもいいんですか。示せなかつたらその根拠は規制上の位置付けとかの観点でどういふような整理なんですな。もし要求が必要だつたら、それは何か電路がちゃんとSs機能保持をするとかいふのをどこに記載しているんですなとか、
2:12:25	今ちょっとこの回答こないんで、正直この色だけ示してもちょっと何か余りにもピンポイント過ぎてよくわかりませぬので、その辺今後きちつと整理をいただいでよろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:12:42	遠くないんで構造機器でございます。了解いたしましたコメントいただいてございましたご意見行っておりましたので、整理しております時コストご説明したいと思います。以上です。
2:13:03	規制庁エザキです。
2:13:05	例えば代表なものとして、このシャフト
2:13:09	立坑的なものですね、交付税で基本的には必要結構小さいんで。
2:13:17	常時の地下水に対する浮力
2:13:20	としての安定性、それと、
2:13:23	地震時の
2:13:24	警報が液状化による、
2:13:27	過剰間隙水圧による浮力はどちらも応答満足してるんですけど、そう。
2:13:33	基本的には浮き上がらないっていう話をどこかで書いておく必要があると思うんですけど、いかがでしょうか。多分視線をところで、
2:13:41	タグということを解析結果を見ると、基本的には離れたところでしか起きてないし、ちょっと付録としては水はかなり引いてはいるんだけど、何が持って浮き上がらないという。
2:13:52	不要としているかっていうのはある程度、
2:13:55	書いたほうが良いと思うんですね。
2:13:57	変えたほうが良いと思うんですけどいかがでしょうか。
2:14:00	特にございですが、終身理解いたしましたと人浮力とかに対しての強度に対して問題になるかと過剰的にどう向きに設定働いているのが基本的な
2:14:14	それと地震時側が厳しくて下向きだと思うんですけども、そう大差整理したいと構造的な話じゃなくて、安定性としてあるかないっていう話いわゆる買うというちゃうわけだけど、これって、盤内に求めているから、岩盤内の総付着として、
2:14:32	考えているのか構造的にいい底面に相当するかわからないから考えているのかいろいろあると思うんですけど、どういう観点で、そうした話を省略できるというロジックにするかっていうのはある程度、
2:14:47	明文化していただきたいんですけど、設計のコンセプトとして、基本的にはこのような深いもんで、ある程度地下水も吸い上げてから吸い上げるものだからではあるんだけど、実際はやはりこれ有効中継もやってるじゃないですか。そうするとやっぱり課長間隙水圧っていう話があって、それに対しての検討は、
2:15:05	いかがなものかっていう話になってるのでよく考えると、
2:15:09	地下水はそれなりに設計水位としてはあるわけだから、そのたく光四国押さえてあるけども、それに対して安全性をどう考えてるのかっていうのは一切触れ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ていないので、それに対しての考え方とか、それはできるのはこういう理由で種省略するとか、
2:15:25	解析結果を踏まえてこうとかいろいろあると思うんですね、多分そこで、
2:15:30	押し支持力度とかいろいろ検討するじゃないですかその辺で書いた方が私としてはいいと思うんで、でも、それはシャフトます含めて、
2:15:39	当然岩盤中では埋め込まれているどれみみたいなものはイダないと思うんですけど。
2:15:46	もうそういったものをちゃんと分類した上で、
2:15:49	どう考えるべきかとか計算するほどのものではないと思うんだと思うんですけどそれははっきりと明文化していただいたほうがいいと思うんですけどいかがですか。
2:15:58	特にございます。了解いたしました。契約に対して構造として安全性が安全性が確保できてるのか、その辺りの観点を面白くポート方ですね。
2:16:11	ページのほうにちょっと反映することを考えていきたいと思います。以上です。
2:16:23	基本的に他の末とかどれについては工程から参りますので、そこでキャンセルされている形と思うんですけども、エザキさん。
2:16:32	そうですね。ソフトですねこれはやはりちょっと中空なってますので、
2:16:37	そのときにちょっとどういったものが働いてるかというのをちょっと抜き出してみても、
2:16:50	そうですね。ここでも入ってきます。
2:16:58	ちょっとその辺りも含めてどのぐらい今付録として働いていて、安全性に問題なのか、そこをきっちり閉め整備。
2:17:09	でも、
2:17:10	ありました。
2:17:13	わかりました。はい、了解いたしました。
2:17:25	以上、地下水位低下せずにシャフト関係は以上ということね。
2:17:35	じゃあ、ちょっと次回五つ思い、
2:17:40	そういう設計が残ってるものが
2:17:43	回答整理表で三つほどありますけど、もう
2:17:48	はい。
2:17:50	ということで、
2:17:55	一つ、今日ヒアリング時間がちょっと今時間になりましたので、これ今、積み残しの案件についてはまた次回、改めて御説明くださいなんですが、よろしいんでしょうか。また、こちらの規制庁側から特にならなければ東計電算なんかございますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:14	そこに鋼材でされてこちらは特段ございません。わかりました。はい、じゃあヒアリングのほうは以上とさせていただきます。
---------	---

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。